箱崎まちづくり計画書



自然豊かで魅力あるまち「はこざき」

令和2年3月 箱崎まちづくり協議会



箱崎まちづくり計画書(目次)

		ページ番号
1.	計画の目的	P.1~
2.	計画の期間	P.2~
3.	箱崎地区の状況	P.2~
	①地域の概要	P.2~
	②箱崎地区の人口・世帯数の推移	P.3~
	③箱崎地区の行事・活動	P.3~
	④箱崎地区の資源	P.4~
	⑤住民アンケートの結果	P.5~
4.	箱崎地区の組織・団体	P.28~
5.	箱崎地区の現状と課題	P.29~
6.	箱崎地区のビジョン	P.30~
7.	箱崎まちづくり協議会組織図	P.31~
8.	事業計画	P.32~
9.	おわりに	P.41~
(参	考)箱崎まちづくり協議会設立のあゆみ	P.42~
	箱崎まちづくり協議会規約	P.43~
	SDGs(えすでぃーじーず)について	P.47~

《はじめに》

この度、箱崎まちづくり協議会の会長を務めます浦川でございます。

箱崎まちづくり協議会は、地域の課題を地域みんなの力で解決し、安全・安心で更に住みやすい地域づくりを目指す組織です。

箱崎地区の現状を以前と比較すると、少子高齢化による人口の減少、それに伴う農業や漁業、各組織・団体の後継者不足による活力の低下が大きな課題の一つです。少子高齢化に関しては、全国的な問題ではありますが、私たちの暮らす箱崎地区において、時代や環境に応じた対策を講じることが、住み続けられるまちづくりのための第一歩ではないかと考えます。このような様々な問題を解決するためにも、皆様からいただいたアンケート調査等、貴重なご意見を今後のまちづくりに反映させていきたいと思います。

安全・安心で、住みよいまちづくりを実現するため、役員をはじめ、地域皆様方のご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げ、挨拶といたします。

箱崎まちづくり協議会 会長 浦 川 隆



1. 計画の目的

箱崎地区は、令和2年1月1日現在561世帯1,273人の方が住んでいます。(住民基本台帳に基づく人口)高齢化率(65歳以上)は39%を超え、今後も上昇するものと予測されています。

また、生活スタイルや価値観の多様化など、社会状況は大きく変化しており、地域で抱える課題も以前に比べて複雑・多様化しています。

「私たちの暮らしている地域をより安全で住みよい、魅力あふれる地域にしたい。」これは私たちみんなの願いと共通の課題であり、自治公民館をはじめ老人会・青年会・婦人会・消防団・学校・PTA など、さまざまな団体が自分たちの地域をよくするために活動しています。

今後もさらに少子高齢化が進むと予測される中で、箱崎地区の活動の充実を図るために、地域住民が自ら考え、自ら行動し、将来に渡って自分たちの地域は自分たちで守りつくることが重要であるとの考えを基に、箱崎まちづくり計画書を策定します。

本計画は、今後、箱崎まちづくり協議会がどのような地域づくりを進めていくかについて、住民の意見を反映しながらさまざまな観点で見つめ直し、具体的な地域づくりについて事業計画に盛り込み、箱崎地区の更なる発展と箱崎地区住民一人ひとりが誇りを持って、安心して幸せに暮らすことができる市民主体のまちづくりの実現をめざし策定するものです。

2. 計画の期間

まちづくり計画の期間は 5 年としますが、まちづくり計画書における事業内容については、順次見直し改定を行うことで持続可能なまちづくりを推進していくこととします。

3. 箱崎地区の状況

① 地域の概要

箱崎地区は壱岐市北東部に位置し、島で代表的な山と川のある地域です。山は壱岐で2番目に標高の高い男岳山(標高 156m)、3番目の女岳山(標高 149m)がほぼ南北に並びます。そこで祀られている男嶽神社、女嶽神社は近年パワースポットとして名を馳せており、観光客が訪れております。その2つの山の間には男女岳ダム公園が整備されており、桜の名所としても知られ、住民の憩いの場となっています。

また、壱岐の釣りスポットとして有名な赤瀬側には、壱岐芦辺風力発電所があり、 一般家庭の年間使用電力に換算すると約 900 世帯分の電力を供給することのでき る風車が稼働しています。ここは壱岐市が推進するSDGsの理念に基づいたクリーンエネルギーの情報発信基地としての役割も担っています。

箱崎南部の谷江地区には、壱岐で2番目の河川規模である谷江川(二級河川)が流れ、玄界灘に面する芦辺漁港へと注いでいます。春先には沿道の桜並木や川の上を泳ぐこいのぼりの風景が見られ、地域住民の心を満たしてくれます。

産業では一次産業が盛んで、農業では特に畜産(肉用牛)に勢いがあり、その他 米やアスパラ、たばこの栽培がされています。漁業では、諸津漁港においてイカや アジなどの魚介類も水揚げされており、海の幸山の幸で食卓を彩っています。

このように箱崎地区は、農村、漁村が共生している自然と文化の魅力あふれる地域です。



男嶽神社石猿群



② 箱崎地区の人口・世帯数の推移(各年度末時点)

	H27.3	H28.3	H29.3	H30.3	H31.3
世帯数	516	538	548	556	558
男	623	615	622	614	604
女	694	709	707	695	674
人口計	1,317	1,324	1,329	1,309	1,278

直近の5年間では、人口減少・少子高齢化に歯止めがかからず、H29.3 月を境に人口が減少し始めています。しかしながら、世帯数は増加傾向にあり、箱崎地区においても核家族化が進み、住み続けられるまちづくりを進めていく上では、今後ますます地域内でのつながりが重要となってきます。

③ 箱崎地区の行事・活動

箱崎小学校・箱崎幼稚園合同運動会、箱崎地区公民館バレーボール大会、 箱崎地区公民館ソフトボール大会、箱崎八幡神社お祭り、男嶽神社お祭り 消防団活動、農協青年部・農協女性部活動、その他文化・スポーツ団体活動等

●年間行事(抜粋)

月	内容	場所	主催
4月	自治公民館総会	各自治公民館	各自治公民館
	男女岳ダム公園除草作業	男女岳ダム公園	男女岳ダム開発推進委員
5月	箱崎幼稚園•箱崎小学校合同運動会	箱崎幼稚園•箱崎小学校	箱崎幼稚園•箱崎小学校
	箱崎小学校田植え	箱崎小学校	箱崎小学校
6月	箱崎地区ソフトバレーボール大会	箱崎小学校体育館	箱崎地区公民館連絡協議会
	道つくり	各自治公民館管内	各自治公民館
7月	箱崎地区ソフトボール大会	ふれあい広場	箱崎地区公民館連絡協議会
9月	道つくり	各自治公民館管内	各自治公民館
10月	箱崎八幡神社お祭り	箱崎八幡神社	箱崎八幡神社氏子
	男嶽神社お祭り	男嶽神社	男嶽神社氏子
	箱崎小学校稲刈り	箱崎小学校	箱崎小学校
	箱崎地区社協喜寿のお祝い	つばさ	箱崎地区社協
11月	箱崎幼稚園•箱崎小学校学習発表会	箱崎幼稚園•箱崎小学校	箱崎幼稚園•箱崎小学校
12月	箱崎幼稚園・箱崎小学校餅つき大会	箱崎幼稚園•箱崎小学校	箱崎幼稚園•箱崎小学校
	年末夜警(火の用心)	箱崎地区管内	第11分団





10月:男嶽神社お祭り

④ 箱崎地区の資源(文化・歴史・食べ物等)

男嶽神社、女嶽神社、箱崎八幡神社、諸津観音、男女岳ダム公園、壱岐芦辺風力発電所、谷江川、鬼凧づくり、小山弥兵衛、米、壱岐牛、アスパラ 等



男嶽神社



女嶽神社



男女岳ダム公園

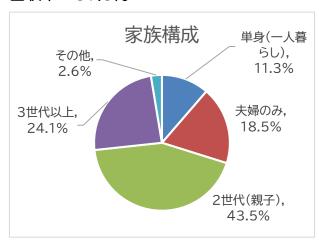
⑤ 住民アンケートの結果

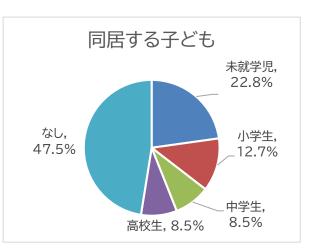
まちづくり計画書策定のために、アンケートを実施しましたところ、箱崎地区の魅力や課題がたくさん見えてきました。(ご協力いただきありがとうございました。)

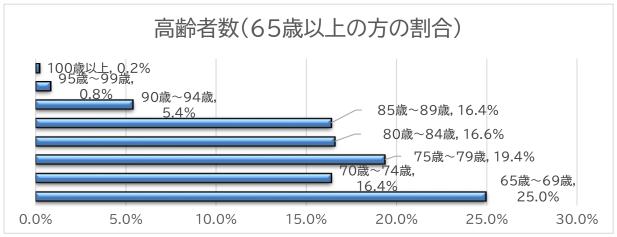
注意) 以下のデータはアンケート回答者のデータであり、実際の住民基本台帳上のデータとは異なります。

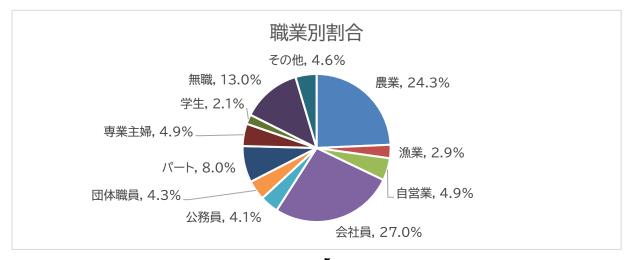
●アンケート回収数

配布数: 1,120 回収数: 757 回収率: 67.6%

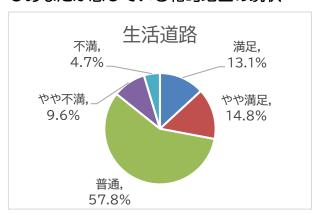


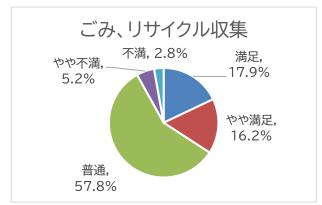




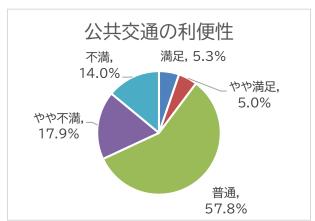


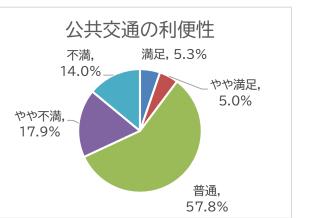
●あなたが感じている箱崎地区の現状

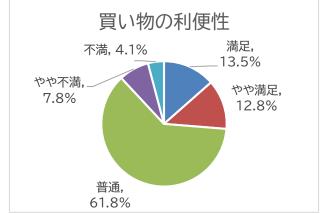




- ・街灯、下水道がない。
- ・特に不便と感じるところはないが、道つ くりは大変負担です。
- ・通学路に未整備道路有。側溝付道路整備 を!!
- ・凸凹が、幹線道路から外れた所は多い。 道つくり以外の道路の草が伸び放題。
- ・車を利用出来ない高齢の方は大変だと思 う。
- きちんと分別されていないものがある。
- ・年を重ねて自動車を運転できない時が来 た時、ゴミステーションが遠い。
- ・いつでも出せるようにして欲しい。



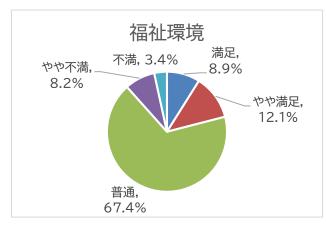


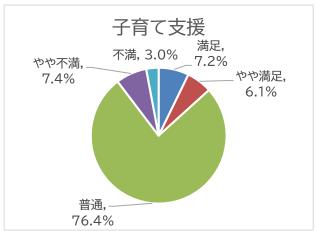


- ・バス停が遠い。バス停に椅子がないので苦 痛ではないかと思う。
- ・バスは決まった道路しか通らないので不便。 バス停がない。
- ・体が不自由になったらどうしようかと思う。 路面電車があるといい。
- ・運賃が高く気軽に利用できない。
- ・夜中のバスがいない。せめて芦辺港から郷ノ 浦港。
- ・バス待ち時間が長い。電動のコミュニティバ ス(4.5 人乗り)があればいい。

- ・イオン等があるので割といい方だと思 う。
- ・ドラモリやダイレックスの様な店が芦辺 町にもあって欲しい!!又、箱崎地区に食 料品店があれば。
- ・車がないので不便です。
- ・地域商店を市は大事にして欲しい。



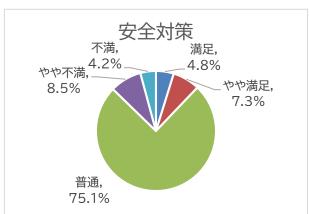




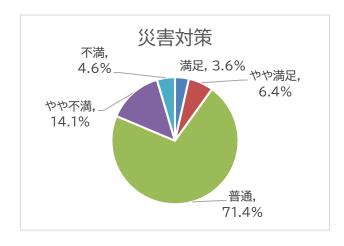
- ・集落で健康づくりのサロンを行っている。た だリーダーのなり手がいない。
- ・よく声をかけてくれる。(満足)
- ・介護費用が高すぎる。
- ・福祉の方々や地域の方々の連携により充実 しているとは思います。
- ・父がデイサービスを利用していますが、どの 状態から利用するのかわからず心配でし た。
- ・身体元気で徘徊の多い高齢者を持つ家族の サポート。要介護の審査基準。
- ・移動をする際の公共交通機関の不便さ。



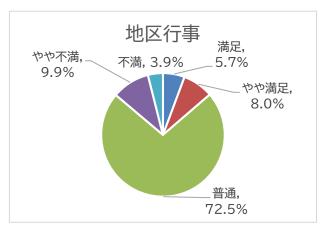




- ・子どもの好きな事を選ぶことが難しい。
- ・保育所の確保ができない。
- ・共働きの為、子供が病気の時に大変。病理保 育はあっても手続きが大変そう。
- ・通学時に歩く事が無い。運動不足と思う。
- ・休日・祝日などいろんなイベントもなく、遊ぶ 場所も少ない。
- ・先進的な支援環境ではない。(やや不満)
- ・近くに公園もあり保育園も割と近いので有難いです。もっとたくさんの子どもが近く に居ればもっと楽しいかも。
- ・子ども達には住みやすい地区かなと思って いますが、あまりに行事が多過ぎるので は。(やや不満)
- ・昔は近所の人達と共に子育てをしていた が、割と個人主義になっている。
- ・駐在所の訪問が楽しみだが、回数が少ない。
- ・街灯が少ないので夜道が暗い。
- ・通学路は人通りが少ない場所が多く心配。
- ・野犬が多い。
- ・田舎特有の安心安全という思いがあるが、こ れから先はわからない。
- ・防犯カメラ設置を希望。
- ・車の運転マナーが悪い。(壱岐全体)
- ・消防団の方々の活躍が頼もしい。(満足)
- ・何か対策してあるのか逆に知りたい。

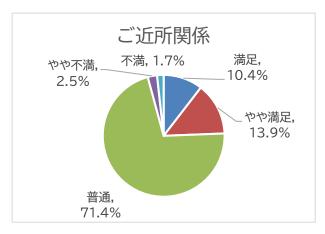






- ・あまり行事が多くても協力が困難と感じる時 がある。
- ・出来ない行事などで参加しないと悪く思われるのがいや。
- ・役員の負担が多すぎる。
- ・地区内のスポーツ大会がマンネリ化している ような気がする。
- ・地域の活動に協力的な人が少ない。
- ・レクレーション的な地区民総出の遊びの日がない。
- ・伝統文化を大切にしてほしい。
- ・昔の様な地区の行事が少なくなっている。

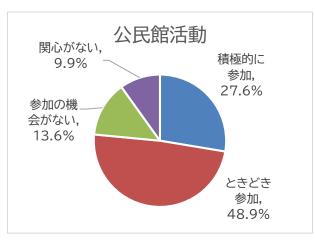
- ・防災無線の知らせで助かる。ただ地域の防災 訓練が必要だと思う。
- ・避難場所が小学校だし良い。たくさんの人が行ける。
- ・避難訓練をするべき。救命講習を希望。
- ・老人の多い地区なので周囲の若者たちの協力が不可欠。
- ・避難場所の設備や駐車場スペースが物足り ないように思う。
- ・川の近くなので、大雨の際氾濫しそうで怖い
- ・津波、原発対策が必要。

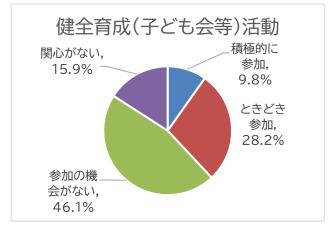


- ・特にトラブルなく良好な関係が築けている。
- ・ありもしない事をあたかも本当の事のように 言われる方いるので不満。
- ・色々な行事がありたくさんの人とふれあえる。
- ・適度なおせっかいで良いと思います。
- ・お葬式で仕事休まないといけない。
- ・回覧板を持って行き、話をして情報交換をお 互いしています。
- ・自治会でなく公民館を大事にして欲しい。
- ・ふれあいが少ない。地区の老人会活動が欲し い。リーダーがいない。

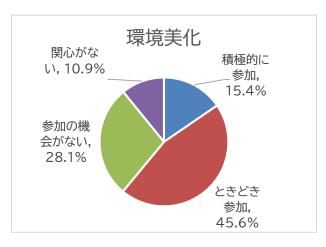


●今後どのように地区活動に関わっていきたいですか?



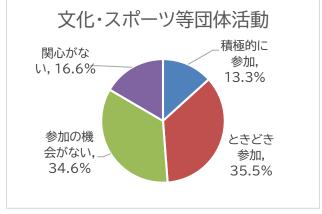


- ・若手にバトンタッチ。(ときどき参加)
- ・周囲の目もあり全く参加しないわけにはいかない。
- ・年なのでなにも出来ない為。(関心がない)
- ・意味ある活動を積極的に参加したい。
- ・体が不自由な為参加する事ができない。

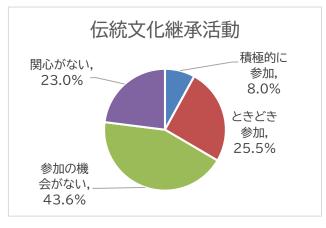


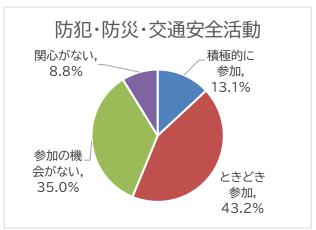
- ・育成会の活動の周知がわかりにくい。
- ・参加の機会がないが、参加出来れば積極的 に参加したい。





- ・老人クラブは花いっぱい運動、空缶ひろいを して地域貢献につとめている。
- ・公民館道つくりに参加している。
- ・仕事の都合がつけば参加していきたい。
- ・定期的ゴミ拾い。ウォーキングイベントとゴミ 拾いなど新たな活動を始めたい。
- ・家の前の歩道はウルトラ・新春マラソンで使用してあるので花植等があれば参加できます。
- ・高齢者の健康づくりと思って出かけるよう心がけている。
- ・JAレク大会(スポーツ)はいつもフットサルと 同じ日なので日にちをずらして欲しい。
- ・参加したくてもどんなものがあるのかが分かりづらい。
- ・子どもと一緒に参加出来る活動を希望。
- ・高齢者になったので気持ちはあるが、体力が 心配。





- ・何かしてあるのですか? 分かりません。
- ・まず触れる、観る、意味を知るようなイベント 機会が増えて欲しい。
- ・自分の好きな事は体力の続く限り続けたい。

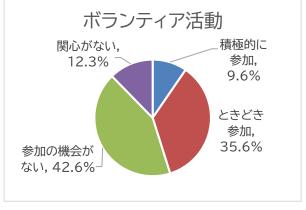
・交通安全の立哨には、当番が来た時協力している。



鬼凧(おんだこ)



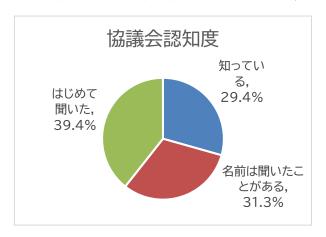
小山弥兵衛(石碑)



- ・老人クラブで、ひきこもり防止を含めて活動している。
- ・除草作業等必ず出ていますが、1日終日作業はきつい!負担を軽減できないのか…。
- ・余裕がない(時間的・体力的)

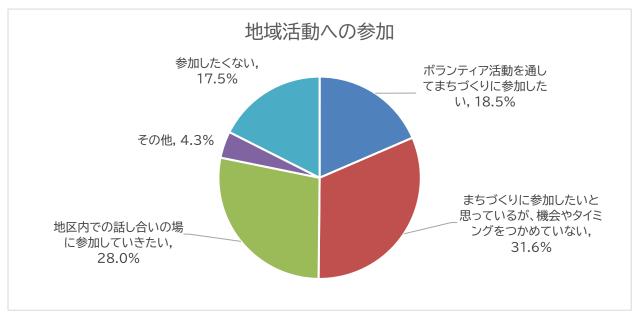


●箱崎まちづくり協議会設立に向けた準備について





箱崎まちづくり協議会設立準備委員会



- ・仕事とのタイミングで声がかかれば参加。
- ・仕事や学校行事、イベントなど多いため、参加はむずかしいと思う。
- ・高齢で参加出来ない。
- ・内容仕組みしだい。各団体への役割の割り当てを行う事などに反対。



美濃の谷



赤瀬から見た風車

●日常の暮らしの中で不安に感じていること、困っていること

	後継者不足が深刻で、老後が不安。(各組織や団体、農業、漁業、各家庭など)
	後継者不足により、公民館活動等ができなくなっている。(特に道つくり、環境美化活動等)
	後継者がいない家が多い。残ったものに負担がかたよるとさらに後継者が残りにくい。島外
	へ出た子や後継者候補を呼び戻す手立てを行政や当事者はすべき。
	子育て世代が地区の役員をすることがあり、学校やスポーツクラブの役員と同時にしなくて
	はならなくて大変。負担が大きいが他に人もいないのでするしかない。
	独身の方が多いので対策をしないと人口減少が止まらないし、地域が活性化しない。
	孫に嫁さんを紹介して欲しい。
→ +	後継者の不足。いても嫁がいない。後継者に出会いの場を作って欲しい。
社会	若い人が壱岐に残ろうとしても働く場所・会社が少ない。
般	地域の中では高齢者が多く、相談できる方が少なくなってきている。
加又	行事が増えており家族と過ごす時間が少なくなっている。
	地域の行事や組織の活動は昔からのまま引き継いできているが、若い世代(特に壱岐に残っ
	ている若い人)が少ない中で、地域活動で休日や仕事を休まなければならない為、家庭や自
	分の趣味、教養まで手がのびない。特定の若い世代に負担がかかりすぎていると思う。(昔
	の世代は人数も多かったからいいが…)
	伝統行事やイベントを継続していくことは大切だが、女性も働き、家事や育児をしながらこ
	のような新しい活動へ参加することは正直かなりの負担となる。
	他人事をあちらこちらで話したがる風習。
	あるけど話してもどうにもならないと思っている。
産	温暖化と乱獲により、水産業が低迷し、壱岐の基幹産業(水産業)の後継者がいなくなり人口
産業	減少が心配。また、水揚げが減少して生活が苦しくなって来た。
	野犬が多く、子どもの通学等にも支障をきたす恐れがある。
	外灯がないので外が少し怖いです。歩け歩けも夜はできない…
	通学路の整備が行き届いていない。(ハチの巣、危険箇所等がある)
環境	旧箱中のグランドが忘れられている。
児	箱崎地区内でも重要な道路として活用する必要がある北部道路の整備。
	子どもを遊ばせる場所が少ない。雨の時でも室内で遊べるような所。
❖	免許返納後の生活の足がない。(今は運転できていても老後が不安)
	バス路線の見直しを行って欲しい。路線について意見要望が出来る場が欲しい。
	バスなどの公共交通の整備。
	箱崎江角、諸津地区にはバス路線がなく、壱岐の中でも取り残されている感があります。ウ
交通	ルトラマラソンでも蚊帳の外です。
	病院に行くときバス乗り場が遠い。スクールバスを活用する事を提案。

-	防災に対する意識の低さ。
防災	諸津は公民館が避難場所として適当でないので見直してほしい。
	災害時の避難場所に不安。
そ	葬儀・法事・近隣・親戚との交際費が多額。
の他	バイク、大型免許等の取得が出来ないこと。若者が残るように遊技施設などを作った方がい
	UN.

●箱崎地区で自慢できるもの・こと・場所等について

	箱崎地区で自慢できるもの・こと・場所等
1	女嶽神社・男嶽神社・箱崎の子どもたち。
2	公民館行事のスポーツ大会。
3	小山弥兵衛・鬼凧・男女嶽ダム公園・男嶽神社とお祭り・諸津観音と周辺の石垣・赤瀬鼻・
	風力発電・谷江川の鯉のぼり流し。
4	高源寺のもみじ。
5	男岳山の石猿群。
6	ダム公園の芝生がよく管理してあるところ。
7	江角海岸の磯遊びが昔のようにできるとよい。
8	兵庫県朝来市との交流。箱小の子どもたちが毎年現地へ行き交流。弥兵衛の墓があり(箱崎
	本村)その関係で続いている。
9	4月桜の満開時期がとても見ごたえがある。(男女岳ダム・諸津観音)
10	地域の協力体制。
11	男女岳ダム・地域の団結力。
12	住人がやさしい♡の持主が多い。助け合おうとする気持ちが強い。
13	男女岳ダム→更に整備して市民の憩いの場としてほしい。(例.:春は桜、秋は紅葉)
14	充実させたい。四季折々の花を育てたい。
15	観光スポットである神社等が多い事。
16	観光や自然を楽しめるスポットが多いと思います。男女岳ダム公園は子どもの遊び場として
	も良い。
17	祭などでも参拝者が少なく思うので、出店などがあるとよい。
18	老人クラブ活動が活発で、定期的に催し物がある。
19	地区内でお祭りを少人数でも継続している。
20	小松原神社氏子の活動。地区内道路の清掃整備。谷江川堤防掃除。
21	観光スポットはいろいろあると思いますが、冷静に考えると、あとは環境整備と受け皿。ボ
	ランティアに参加できる人。歴史などはある程度知識も必要。たとえば、神社仏閣めぐりや
	体験作業など。
22	団結力・男嶽神社・男女岳ダム公園・風車。

	箱崎地区で自慢できるもの・こと・場所等
22	文化的交流が各公民館で行われていること。少しずつ参加者が減少しているので、
	もっと多くなることを…。
23	釣りができる。老人クラブ活動がある。道路わきに花のプランターを見かける。こころがな
	ごむ。地域の豊かさを感じ取れる。心のゆとり。
24	他地区に比べ、祭りや喜寿の祝いなどで、違う世代の人との交流ができる。
25	男岳山・男女岳ダム公園・諸津観音・公民館ソフト・バレー。
26	鎮守神社の祭典。(奉納相撲・子供神輿の存続)
27	自然豊かなところ。
28	鳥越堤付近のコスモス・ひまわりなど、季節の花がとてもきれいで毎年楽しみ。
29	老人会の方達がとてもお元気ですばらしいです。
30	スポーツ行事等力を入れていいと思います。
31	農業畜産に特化した地域である。
32	他の地区に比べて行事や活動が活発であると思う。
33	風力発電・男嶽神社。
34	人間味が素朴である事と歴史のある八幡神社・男嶽神社・男女岳ダム公園。
35	赤瀬等。
36	10 年間サロン活動が継続できていること。趣味活動(スポーツ)で地域の仲間と定期的にし
	ていること。
37	近所付き合いや公民館員のつながりがある。
38	男女岳ダム公園・白滝山。
39	男嶽神社周辺・魚釣碕より鵜ノ滝周辺海岸線。
40	私の地区には観音さまが居られますが、最近よくお参りに来られています。
41	男嶽神社・赤瀬・高瀬(ワニゴ)・風車・鵜ノ滝。
42	海の景色。
43	地産地消出来る産物。(農業・水産業・畜産業)
44	歴史・史跡・神社・海。
45	男嶽神社•諸津観音•諸津旧海軍見張所。
46	赤瀬鼻があるが、整備されていないのが残念。戦時中の見張所があるが整備必要。いずれも
	観光客のため。
47	壱岐の和牛づくりのキャトルステーション。
48	いい所はたくさんあるのに草が伸びきっている。
49	比較的他の地区に比べて若い世代のまとまりはあると思う。
50	子どもたちは穏やかな性格で学年を越えて仲が良い。
51	現時点では、中心的役割を担われる方々がそれぞれの地域でおられること。
52	いろいろな行事に全力で取り組んで行く協力性。
53	地域の関わり合いが良いと思います。

	箱崎地区で自慢できるもの・こと・場所等
54	釣ができる海がある。近所付き合いや公民館員のつながりがある。
55	地区の氏神様の神事。(大祭等)
56	地域の伝統行事が若者に継続出来ていること。(お祭り・花ちらし等)
57	中学校の跡地が有効に活用されていること。今後運動場の福祉施設としての活用をお願いし
	たい。
58	山も川も海もあり、人も優しい。
59	買物が便利・風光明媚・パワースポット・弥兵衛さんの物語・風車・元寇・男女岳ダム公園・
	釣場(赤瀬)。
60	他の地域より子どもが多く若い家庭が多いかなと思う。
61	老人クラブ活動(サロン)が開始から 10 年過ぎ、毎月一回の活動で楽しい時間を過ごして
	いる。
62	中学校あとに福祉施設、障害者施設(希望の丘)特別養護老人ホーム「ハッピーヒルズ(幸
	せの丘)」。
63	人•自然•福祉施設。
64	箱崎地区だけではないですが、小中学生の子どもさん達が横断歩道を渡り終えて頭を下げて
	くれること。
65	諸津白歯観音公園や男女岳ダム公園の桜はみごと。
66	歴史的に古い地区だと思うので調べればあると思います。本になったものもあるようです。
	協議会活動として、歴史に詳しい人を呼んで学習会を開いたり、地区の散策などもいいので
	は。



男嶽神社駐車場からの眺め



旧海軍見張所(沖ノ島兵舎)



諸津観音

●箱崎地区は将来どのようになる方が良いと考えますか。また、まちづくり協議会でどのような取組みが必要だと考えますか。

	箱崎地区の目指すべき将来像/まちづくり協議会での取組み
1	独居の方への生活補助が気軽に出来たら良い。又は近所間で人の交流が円滑になるしくみが
	あればいい。
2	地区の環境整備、草切・雑木の伐採を進める。
3	小山弥兵衛さんの功績を称え朝来市と交流を続ける。伝統文化を語り継ぐ。
4	30 年後も今ぐらいだといい。
5	道路周辺の雑草刈取。
6	みんなが住みよい地区。
7	後継者が増える職場の誘致。馬の川溜池付近は水道、市道は利便性が富んでいるので国の機
	関を誘致し、官舎を建設して公務員が増えると良いと思う。
8	地区に在籍している若者が、あまりあれこれと重ねて役を持つことが負担にならない程度に
	して欲しい。子育て世代は幼稚園・保育園・小中高やクラブ等でも重複して役を持ってある
	方も多く、何役もこなすのはとても大変と思うので、人数が少ないなりに、役も見直しては
	…と思うときもある。
9	子どもが増えて箱崎幼小が存続してくれたらいいと思う。
10	子ども達が遊べる場所があると良い。
11	個々でなく集団で起業も。
12	働く場が少ない。人口の減少。賃金が低い。
13	地域の交流の場が身近にあること。中学生スクールバス待合所を作って頂きたい。雨の日等
	バス停待っているお子さんを見かけますが、屋根付き待合室があったら安全と思うので。是
	非早急に取り組んで頂きたい。
14	バス路線から遠い地区も多いので、気軽に利用できるような車等を作ったらどんなに幸福か
	と思います。
15	壱岐市に高齢者が多くなるため、交通の面などで、高齢者が住みよい町になればと思います。
16	高齢者の方が住みやすい町というのが一番かなと思います。自分は車を使うのでなかなかわ
	からないのですが、公共交通の面など、車がなくても不便を感じないのは理想的だと思いま
	す。
17	閉じこもりやひきこもりのない地域づくり。体が動かせて自分の土地で現金収入ができるよ
	うに。何歳までできるのか、できなくなった時が心配。
18	子どもたちを減少させない為の取組。
19	高齢化に伴う交通問題と交通機関。(買物など)
20	若い人が多く帰省して働ける場があればいいですね。学校の運動会は子ども、孫が通ってな
	いと参加されない人が多いので。
21	高齢者(60 才以上)で作る6次産業で活性化。

	箱崎地区の目指すべき将来像/まちづくり協議会での取組み
22	老人一人の世帯でも掃除や生活に困らないようにする。子どもが安心して過ごせること。
	(明るい町づくり)
23	高齢者は暇な時間が多いので、ぼけない為にも集会所やサロン等があり、出会いがあれば良
	いと思う。
24	地域全体で子育て、介護をしていく。地域が交流できる場をもっと盛り上げていく。学校も
	一緒に取組む。
25	若い人たちが仕事や子育てで忙しいという理由で、地域活動に参加できない事がなくなれば
	いいと思う。→フォローできる環境づくりが必要。
26	地区民運動会・盆踊り大会・タライペーロン選手権大会・カラオケ大会等4年に1回の種目
	変更で、3世代・4世代参加型イベントの開催(盆・正月の帰省客参加で)。1ターン・Uタ
	ーン者の呼び込みを。
27	大規模農園の推進。オートメーション工場の誘致。
28	芦辺港をずっと維持して欲しい。
29	one for all all for one の町を目指す。
30	一人でも多くの若者が島に残りたいと思える地域を作っていかないといけない。仕事・出会
	いの場・遊ぶ所が少ない。
31	道路わきのセイタカアワダチソウ、竹、カズラ、雑木でせっかくの壱岐の島の景観が台無し
	になっています。まずは観光客が素晴らしい島であると思うように整備が必要だと思いま
	す。
32	旧箱中のグランドに雑草が生え、見苦しく感じます。有効的に活用して頂けるように検討し
	てもらえればと思います。
33	子どもから高齢者まで暮らしやすい地域づくり。歳をとっても生活負担が少なく安心安全に
	暮らせる仕組みづくり。
34	いつまでも健康で元気に長生きできる仕組みづくり。歳をとっても生活負担が少なく安心安
	全に暮らせる仕組みづくり。
35	安全安心で住みよい地区になってもらうために、まちづくり協議会という会でボランティ
	ア、災害援助など幅広く対応してもらいたい。
36	こどもが増え活気づけばいいなあと思っている。
37	旧中学校のグランドが活用されていない。
38	遊休農地が目立たず花がいっぱいな景観。旧箱中グランドを活用すべき。
39	まちづくり協議会事態が良く分からないので何とも言えません。
40	もっと子ども達が壱岐に残りたいと思うような仕事場が増えて、壱岐が一本化したような場
	所の確保。
41	今のままの方法を考えても衰退していくばかりだと思う。
42	道路を拡張してバスを通して貰いたい。(赤瀬線・江角線)

指師地区の目指すべき将来像/まちづくり協議会での取組み 「観光のき岐」を目指すなら、勝本・江角・語識までの海岸道路の整備が必要。き岐の海を 見ながらウルトラマラソンや観光パスも走ってもらいたい。 44 第 1 次産業の後継者がつながりをもって相互に仕事を補い合う。(小規模のワークシェア) 学童の帰りを保護者だけでなく公共のパス等で送る。 45 30 年後、現在の我が家とほぼ同じ年齢の家族構成で暮らすことは難しいと思います。若者 (20 代・30 代が働きやすく住みよいまちづくりはどんなものだろうと考えますが、漠然と しずぎてまとまりづらいです。 46 人口減少をくいとめるような取組みが必要。 47 安心して安全に暮らせるよう、道路整備・維持管理。(消防車・救急車がスムーズに通行でき る環境) 48 男女岳ダム・風力発電施設等を地区のられあいの場として有効活用出来ないか。 青年団・青年会・婦人会・老人会は支部単位ではなく地区全体での活動! 50 高齢化が進み、集まりの場も少なく、必要とされる事もなくなっている方が多いと思います。 自然が多い地区なので、例えば、葉物ビジネスを立ち上げ地区グループをつくり、市・JAな どに協力を得て取り組んでみては。 51 小学校の統合、とにかく早く。小学校がなくなると地域がすだれるとか言う人がいるが、そ れは全く古い考え。十数年前から児童数が減る事は分かっていた事。少数での学校教育が子 どもや保護者に与えるマイナス面が大きすぎる。自分の子どもは多くの中間や反遠の中で育 でたい。複式学級は子どもがかわいそう。芦辺町のエリアを考えれば小学校は 1~2 校で十 分。 52 一人暮らしの人達を見守る取組みが必要。 3 現状のままでいいのではないか? 農業や畜産業が多いと思いますが、携わったり学んだりする機会が少なくて、継承されなく なってきているのではないでしょうか。中学や高校でそのような場があるとよいと思う。 55 もう少し子どもが増えるといいなと思います。そのために、子育で世代が住みたくなるよう なまちづくのが必要だと思います。 56 後継者がいて小学校全校 60 名はいる学校にしたい。 57 証一人 (独居老人)取り残さない地域づくり。特に高齢者。 26 者人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れ ても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 使用されたり、住まれていない古民家のリノペーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 52 子ともが集まれる場所。 61 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 歳をとっても生活の見びかない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。 農業だけでも生計が成り立つ仕組み。		
現ながらウルトラマラソンや観光バスも走ってもらいだい。 44 第 1 次産業の後継者がつながりをもって相互に仕事を補い合う。(小規模のワークシェア)学童の帰りを保護者だけでなく公共のバス等で送る。 45 30 年後、現在の我が家とほぼ同じ年齢の家族構成で暮らすことは難しいと思います。若者(20 代・30 代が働きやすく住みよいまちづくりはどんなものだろうと考えますが、漠然としすぎてまとまりづらいです。 46 人口減少をくいとめるような取組みが必要。 47 安心して安全に暮らせるよう、適路整備・維持管理。(消防車・救急車がスムーズに通行できる環境) 48 男女岳ダム・風力発電施設等を地区のふれあいの場として有効活用出来ないか。 青年団・青年会・婦人会・老人会は支部単位ではなく地区全体での活動!! 50 高齢化が進み、集まりの場も少なく、必要とされる事もなくなっている方が多いと思います。自然が多い地区なので、例えば、葉物ビジネスを立ち上げ地区グループをつくり、市・JAなどに協力を得て取り組んでみては。 1 小学校の統合、とにかく早く。小学校がなくなると地域がすだれるとか言う人がいるが、それは全く古い考え。+数年前から児童数が減る事は分かっていた事。少数での学校教育が子どもや保護者に与えるマイナス面が大きすぎる。自分の子どもは多くの仲間や友達の中で育てたい。複式学級は子どもがかわいそう。芦辺町のエリアを考えれば小学校は 1~2 校で十分。 52 一人暮らしの人達を見守る取組みが必要。 53 現状のままでいいのではないか? 農業や畜産業が多いと思いますが、携わったり学んだりする機会が少なくて、継承されなくなってきているのではないでしょうか。中学や高校でそのような場があるとよいと思う。 55 もう少し子どもが増えるといいなと思います。そのために、子育て世代が住みたくなるようなまちづくりが必要だと思います。 56 後継者がいて小学校全校60名はいる学校にしたい。 第7 能一人独居者人取り残さない地域づくり。特に高齢者。 老人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 59 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 50 子どもが集まれる場所。 61 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。		箱崎地区の目指すべき将来像/まちづくり協議会での取組み
### 1 次産業の後継者がつながりをもって相互に仕事を補い合う。(小規模のワークシェア) 学童の帰りを保護者だけでなく公共のバス等で送る。 ### 30 年後、現在の我が家とほぼ同じ年齢の家族構成で暮らすことは難しいと思います。若者 (20 代・30 代)が働きやすく住みよいまちづくりはどんなものだろうと考えますが、漠然としずぎてまとまりづらいです。 ### 46 人口減少をくいとめるような取組みが必要。 ### 5世	43	「観光の壱岐」を目指すなら、勝本→江角→諸津までの海岸道路の整備が必要。壱岐の海を
学童の帰りを保護者だけでなく公共のバス等で送る。 30 年後、現在の我が家とほぼ同じ年齢の家族構成で暮らすことは難しいと思います。若者(20代・30代)が働きやすく住みよいまちづくりはどんなものだろうと考えますが、漠然としずぎてまとまりづらいです。 46 人口減少をくいとめるような取組みが必要。 47 安心して安全に暮らせるよう、道路整備・維持管理。(消防車・教急車がスムーズに通行できる環境) 48 男女岳ダム・風力発電施設等を地区のふれあいの場として有効活用出来ないか。 青年団・青年会・婦人会・老人会は支部単位ではなく地区全体での活動!! 50 高齢化が進み、集まりの場も少なく、必要とされる事もなくなっている方が多いと思います。自然が多い地区なので、例えば、葉物ビジネスを立ち上げ地区グループをつくり、市・JAなどに協力を得て取り組んでみては。 51 小学校の統合、とにかく早く。小学校がなくなると地域がすたれるとか言う人がいるが、それは全く古い考え、十数年前から児童数が減る事は分かっていた事。少数での学校教育が子どもや保護者に与えるマイナス面が大きすぎる。自分の子どもは多くの仲間や反連の中で育てたい。複式学級は子どもがかわいそう。芦辺町のエリアを考えれば小学校は1~2校で十分。 52 一人暮らしの人達を見守る取組みが必要。 53 現状のままでいいのではないか? 農業や畜産業が多いと思いますが、携わったり学んだりする機会が少なくて、継承されなくなってきているのではないでしょうか。中学や高校でそのような場があるとよいと思う。 55 もう少し子どもが覚えるといいなと思います。そのために、子育て世代が住みたくなるようなまちづくりが必要だと思います。 56 後継者がいて小学校全後の名はいる学校にしたい。 57 離一人(独居老人)取り残さない地域づくり。特に高齢者。 8人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安ゆして暮らしていける生活を送れるのではないか。 59 使用されたり、住まれていない古民家のリノペーション、(瀬戸の町がさびしい気がします) 60 子どもが集まれる場所。 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。		見ながらウルトラマラソンや観光バスも走ってもらいたい。
45 30 年後、現在の我が家とほぼ同じ年齢の家族構成で暮らすことは難しいと思います。若者 (20 代・30 代)が働きやすく住みよいまちづくりはどんなものだろうと考えますが、漠然としすぎてまとまりづらいです。 46 人口減少をくいとめるような取組みが必要。 47 安心して安全に暮らせるよう、道路整備・維持管理。(消防車・救急車がスムーズに通行できる環境) 48 男女岳ダム・風力発電施設等を地区のふれあいの場として有効活用出来ないか。 青年団・青年会・婦人会・老人会は支部単位ではなく地区全体での活動!! 50 高齢化が進み、集まりの場も少なく、必要とされる事もなくなっている方が多いと思います。自然が多い地区なので、例えば、葉物ビシネスを立ち上げ地区グループをつくり、市・JA などに協力を得て取り組んでみては。 51 小学校の統合、とにかく早く。小学校がなくなると地域がすたれるとか言う人がいるが、それは全く古い考え。十数年前から児童数が減る事は分かっていた事。少数での学校教育が子どもや保護者に与えるマイナス面が大きすぎる。自分の子どもは多くの仲間や反達の中で育てたい。複式学級は子どもがかわいそう。芦辺町のエリアを考えれば小学校は 1~2 校で十分。 52 一人暮らしの人達を見守る取組みが必要。 53 現状のままでいいのではないか? 54 農業や畜産業が多いと思いますが、携わったり学んだりする機会が少なくて、継承されなくなってきているのではないでしょうか。中学や高校でそのような場があるとよいと思う。 55 もう少し子どもが増えるといいなと思います。そのために、子育て世代が住みたくなるようなまちづくりが必要だと思います。 56 後継者がいて小学校全校60名はいる学校にしたい。 57 胜一人(独居老人)取り残さない地域づくり。特に高齢者。 58 者人でも住める地域になれば、子とも違も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 59 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 59 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 50 子どもが集まれる場所。 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。	44	第 1 次産業の後継者がつながりをもって相互に仕事を補い合う。(小規模のワークシェア)
(20代・30代)が働きやすく住みよいまちづくりはどんなものだろうと考えますが、漠然としすぎてまとまりづらいです。 46 人口減少をくいとめるような取組みが必要。 47 安心して安全に暮らせるよう、道路整備・維持管理。(消防車・救急車がスムーズに通行できる環境) 48 男女岳ダム・風力発電施設等を地区のふれあいの場として有効活用出来ないか。 49 青年団・青年会・婦人会・老人会は支部単位ではなく地区全体での活動!! 50 高齢化が進み、集まりの場も少なく、必要とされる事もなくなっている方が多いと思います。自然が多い地区なので、例えば、葉物ビジネスを立ち上げ地区グループをつくり、市・JAなどに協力を得て取り組んでみては。 小学校の統合、とにかく早く。小学校がなくなると地域がすたれるとか言う人がいるが、それは全く古い考え。十数年前から児童数が減る事は分かっていた事。少数での学校教育が子どもや保護者に与えるマイナス面が大きすぎる。自分の子どもは多くの仲間や反達の中で育てたい。複式学級は子どもがかわいそう。芦辺町のエリアを考えれば小学校は1~2校で十分。 52 一人暮らしの人達を見守る取組みが必要。 53 現状のままでいいのではないか? 54 農業や畜産業が多いと思いますが、携わったり学んだりする機会が少なくて、継承されなくなってきているのではないでしょうか。中学や高校でそのような場があるとよいと思う。ちう少し子どもが増えるといいなと思います。そのために、子育て世代が住みたくなるようなまちづくりが必要だと思います。 56 後継者がいて小学校全校60名はいる学校にしたい。 57 誰一人(独居老人)取り残さない地域づくり。特に高齢者。 老人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 59 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 7ともが集まれる場所。 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。		学童の帰りを保護者だけでなく公共のバス等で送る。
しすぎてまとまりづらいです。 46 人口減少をくいとめるような取組みが必要。 47 安心して安全に暮らせるよう、道路整備・維持管理。(消防車・救急車がスムーズに通行できる環境) 48 男女岳ダム・風力発電施設等を地区のふれあいの場として有効活用出来ないか。 49 青年団・青年会・婦人会・老人会は支部単位ではなく地区全体での活動!! 50 高齢化が進み、集まりの場も少なく、必要とされる事もなくなっている方が多いと思います。自然が多い地区なので、例えば、葉物ビジネスを立ち上げ地区グループをつくり、市・JA などに協力を得て取り組んでみては。 51 小学校の統合、とにかく早く。小学校がなくなると地域がすだれるとか言う人がいるが、それは全く古い考え。十数年前から児童数が減る事は分かっていた事。少数での学校教育が子どもや保護者に与えるマイナス面が大きすぎる。自分の子どもは多くの仲間や友達の中で育てたい。複式学級は子どもがかわいそう。芦辺町のエリアを考えれば小学校は1~2校で十分。 52 一人暮らしの人達を見守る取組みが必要。 53 現状のままでいいのではないか? 54 農業や畜産業が多いと思いますが、携わったり学んだりする機会が少なくて、継承されなくなってきているのではないでしょうか。中学や高校でそのような場があるとよいと思う。 ちう少し子どもが増えるといいなと思います。そのために、子育て世代が住みたくなるようなまちづくりが必要だと思います。そのために、子育て世代が住みたくなるようなまちづくりが必要だと思います。 56 後継者がいて小学校全校60名はいる学校にしたい。 57 誰一人(独居老人)取り残さない地域づくり。特に高齢者。 58 老人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 69 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 60 子どもが集まれる場所。 61 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。	45	30年後、現在の我が家とほぼ同じ年齢の家族構成で暮らすことは難しいと思います。若者
46 人口減少をくいとめるような取組みが必要。 47 安心して安全に暮らせるよう、道路整備・維持管理。(消防車・救急車がスムーズに通行できる環境) 48 男女岳ダム・風力発電施設等を地区のふれあいの場として有効活用出来ないか。 49 青年団・青年会・婦人会・老人会は支部単位ではなく地区全体での活動!! 50 高齢化が進み、集まりの場も少なく、必要とされる事もなくなっている方が多いと思います。自然が多い地区なので、例えば、葉物ビジネスを立ち上げ地区グループをつくり、市・JAなどに協力を得て取り組んでみては。 51 小学校の統合、とにかく早く。小学校がなくなると地域がすだれるとか言う人がいるが、それは全く古い考え。十数年前から児童数が減る事は分かっていた事。少数での学校教育が子どもや保護者に与えるマイナス面が大きすぎる。自分の子どもは多くの仲間や友達の中で育てたい。複式学級は子どもがかわいそう。芦辺町のエリアを考えれば小学校は1~2校で十分。 52 一人暮らしの人達を見守る取組みが必要。 53 現状のままでいいのではないか? 度業や畜産業が多いと思いますが、携わったり学んだりする機会が少なくて、継承されなくなってきているのではないでしょうか。中学や高校でそのような場があるとよいと思う。もう少し子どもが増えるといいなと思います。そのために、子育て世代が住みたくなるようなまちづくりが必要だと思います。 56 後継者がいて小学校全校60名はいる学校にしたい。 57 離一人(独居老人)取り残さない地域づくり。特に高齢者。 58 老人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 59 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 60 子どもが集まれる場所。 61 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。		(20代・30代)が働きやすく住みよいまちづくりはどんなものだろうと考えますが、 漠然と
47 安心して安全に暮らせるよう、道路整備・維持管理。(消防車・救急車がスムーズに通行できる環境) 48 男女岳ダム・風力発電施設等を地区のふれあいの場として有効活用出来ないか。 49 青年団・青年会・婦人会・老人会は支部単位ではなく地区全体での活動!! 50 高齢化が進み、集まりの場も少なく、必要とされる事もなくなっている方が多いと思います。自然が多い地区なので、例えば、集物ビジネスを立ち上げ地区グループをつくり、市・JA などに協力を得て取り組んでみては。 51 小学校の統合、とにかく早く。小学校がなくなると地域がすたれるとか言う人がいるが、それは全く古い考え。十数年前から児童数が減る事は分かっていた事。少数での学校教育が子どもや保護者に与えるマイナス面が大きすぎる。自分の子どもは多くの仲間や友達の中で育てたい。複式学級は子どもがかわいそう。芦辺町のエリアを考えれば小学校は1~2校で十分。 52 一人暮らしの人達を見守る取組みが必要。 53 現状のままでいいのではないか? 54 農業や畜産業が多いと思いますが、携わったり学んだりする機会が少なくて、継承されなくなってきているのではないでしょうか。中学や高校でそのような場があるとよいと思う。ちう少し子どもが増えるといいなと思います。そのために、子育て世代が住みたくなるようなまちづくりが必要だと思います。 56 後継者がいて小学校全校60名はいる学校にしたい。 57 誰一人独居老人取り残さない地域づくり。特に高齢者。 表人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 59 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 60 子どもが集まれる場所。 61 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 62 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。 63 農業だけでも生計が成り立つ仕組み。		しすぎてまとまりづらいです。
 る環境) 48 男女岳ダム・風力発電施設等を地区のふれあいの場として有効活用出来ないか。 49 青年団・青年会・婦人会・老人会は支部単位ではなく地区全体での活動!! 50 高齢化が進み、集まりの場も少なく、必要とされる事もなくなっている方が多いと思います。自然が多い地区なので、例えば、葉物ビジネスを立ち上げ地区グループをつくり、市・JAなどに協力を得て取り組んでみては。 51 小学校の統合、とにかく早く。小学校がなくなると地域がすだれるとか言う人がいるが、それは全く古い考え。十数年前から児童数が減る事は分かっていた事。少数での学校教育が子どもや保護者に与えるマイナス面が大きすぎる。自分の子どもは多くの仲間や友達の中で育てたい。複式学級は子どもがかわいそう。芦辺町のエリアを考えれば小学校は 1~2 校で十分。 52 一人暮らしの人達を見守る取組みが必要。 53 現状のままでいいのではないか? 54 農業や畜産業が多いと思いますが、携わったり学んだりする機会が少なくて、継承されなくなってきているのではないでしょうか。中学や高校でそのような場があるとよいと思う。 55 もう少し子どもが増えるといいなと思います。そのために、子育て世代が住みたくなるようなまちづくりが必要だと思います。 56 後継者がいて小学校全校 60 名はいる学校にしたい。 57 誰一人(独居老人)取り残さない地域づくり。特に高齢者。 58 者人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 59 使用されたり、住まれていないも民家のリノペーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 60 子どもが集まれる場所。 61 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 62 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。 63 農業だけでも生計が成り立つ仕組み。 	46	人口減少をくいとめるような取組みが必要。
48 男女后ダム・風力発電施設等を地区のふれあいの場として有効活用出来ないか。 49 青年団・青年会・婦人会・老人会は支部単位ではなく地区全体での活動!! 50 高齢化が進み、集まりの場も少なく、必要とされる事もなくなっている方が多いと思います。自然が多い地区なので、例えば、葉物ビジネスを立ち上げ地区グループをつくり、市・JAなどに協力を得て取り組んでみては。 51 小学校の統合、とにかく早く。小学校がなくなると地域がすだれるとか言う人がいるが、それは全く古い考え。十数年前から児童数が減る事は分かっていた事。少数での学校教育が子どもや保護者に与えるマイナス面が大きすぎる。自分の子どもは多くの仲間や友達の中で育てたい。複式学級は子どもがかわいそう。芦辺町のエリアを考えれば小学校は 1~2 校で十分。 52 一人暮らしの人達を見守る取組みが必要。 53 現状のままでいいのではないか? 54 農業や畜産業が多いと思いますが、携わったり学んだりする機会が少なくて、継承されなくなってきているのではないでしょうか。中学や高校でそのような場があるとよいと思う。 55 もう少し子どもが増えるといいなと思います。そのために、子育て世代が住みたくなるようなまちづくりが必要だと思います。 56 後継者がいて小学校全校 60 名はいる学校にしたい。 57 誰一人(独居老人)取り残さない地域づくり。特に高齢者。 58 者人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 59 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 60 子どもが集まれる場所。 61 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。	47	安心して安全に暮らせるよう、道路整備・維持管理。(消防車・救急車がスムーズに通行でき
 青年団・青年会・婦人会・老人会は支部単位ではなく地区全体での活動!! 高齢化が進み、集まりの場も少なく、必要とされる事もなくなっている方が多いと思います。自然が多い地区なので、例えば、葉物ビジネスを立ち上げ地区グループをつくり、市・JAなどに協力を得て取り組んでみては。 小学校の統合、とにかく早く。小学校がなくなると地域がすたれるとか言う人がいるが、それは全く古い考え。+数年前から児童数が減る事は分かっていた事。少数での学校教育が子どもや保護者に与えるマイナス面が大きすぎる。自分の子どもは多くの仲間や友達の中で育てたい。複式学級は子どもがかわいそう。芦辺町のエリアを考えれば小学校は 1~2 校で十分。 一人暮らしの人達を見守る取組みが必要。 現状のままでいいのではないか? 農業や畜産業が多いと思いますが、携わったり学んだりする機会が少なくて、継承されなくなってきているのではないでしょうか。中学や高校でそのような場があるとよいと思う。 もう少し子どもが増えるといいなと思います。そのために、子育て世代が住みたくなるようなまちづくりが必要だと思います。 後継者がいて小学校全校60名はいる学校にしたい。 誰一人(独居老人)取り残さない地域づくり。特に高齢者。 者人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 子どもが集まれる場所。 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。 農業だけでも生計が成り立つ仕組み。 		る環境)
 高齢化が進み、集まりの場も少なく、必要とされる事もなくなっている方が多いと思います。自然が多い地区なので、例えば、葉物ビジネスを立ち上げ地区グループをつくり、市・JAなどに協力を得て取り組んでみては。	48	男女岳ダム・風力発電施設等を地区のふれあいの場として有効活用出来ないか。
自然が多い地区なので、例えば、葉物ビジネスを立ち上げ地区グループをつくり、市・JAなどに協力を得て取り組んでみては。 51 小学校の統合、とにかく早く。小学校がなくなると地域がすたれるとか言う人がいるが、それは全く古い考え。十数年前から児童数が減る事は分かっていた事。少数での学校教育が子どもや保護者に与えるマイナス面が大きすぎる。自分の子どもは多くの仲間や反達の中で育てたい。複式学級は子どもがかわいそう。芦辺町のエリアを考えれば小学校は1~2校で十分。 52 一人暮らしの人達を見守る取組みが必要。 53 現状のままでいいのではないか? 64 農業や畜産業が多いと思いますが、携わったり学んだりする機会が少なくて、継承されなくなってきているのではないでしょうか。中学や高校でそのような場があるとよいと思う。もう少し子どもが増えるといいなと思います。そのために、子育て世代が住みたくなるようなまちづくりが必要だと思います。 56 後継者がいて小学校全校60名はいる学校にしたい。 57 誰一人(独居老人)取り残さない地域づくり。特に高齢者。 58 者人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 59 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 60 子どもが集まれる場所。 61 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 62 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。	49	青年団・青年会・婦人会・老人会は支部単位ではなく地区全体での活動!!
 どに協力を得て取り組んでみては。 小学校の統合、とにかく早く。小学校がなくなると地域がすたれるとか言う人がいるが、それは全く古い考え。十数年前から児童数が減る事は分かっていた事。少数での学校教育が子どもや保護者に与えるマイナス面が大きすぎる。自分の子どもは多くの仲間や友達の中で育てたい。複式学級は子どもがかわいそう。芦辺町のエリアを考えれば小学校は1~2校で十分。 一人暮らしの人達を見守る取組みが必要。 現状のままでいいのではないか? 農業や畜産業が多いと思いますが、携わったり学んだりする機会が少なくて、継承されなくなってきているのではないでしょうか。中学や高校でそのような場があるとよいと思う。もう少し子どもが増えるといいなと思います。そのために、子育て世代が住みたくなるようなまちづくりが必要だと思います。 後継者がいて小学校全校60名はいる学校にしたい。 港一人(独居老人)取り残さない地域づくり。特に高齢者。 者人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 子どもが集まれる場所。 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。 農業だけでも生計が成り立つ仕組み。 	50	高齢化が進み、集まりの場も少なく、必要とされる事もなくなっている方が多いと思います。
 51 小学校の統合、とにかく早く。小学校がなくなると地域がすたれるとか言う人がいるが、それは全く古い考え。十数年前から児童数が減る事は分かっていた事。少数での学校教育が子どもや保護者に与えるマイナス面が大きすぎる。自分の子どもは多くの仲間や反達の中で育てたい。複式学級は子どもがかわいそう。芦辺町のエリアを考えれば小学校は 1~2 校で十分。 52 一人暮らしの人達を見守る取組みが必要。 53 現状のままでいいのではないか? 54 農業や畜産業が多いと思いますが、携わったり学んだりする機会が少なくて、継承されなくなってきているのではないでしょうか。中学や高校でそのような場があるとよいと思う。 55 もう少し子どもが増えるといいなと思います。そのために、子育て世代が住みたくなるようなまちづくりが必要だと思います。 56 後継者がいて小学校全校 60 名はいる学校にしたい。 57 誰一人(独居者人)取り残さない地域づくり。特に高齢者。 58 老人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 59 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします)子どもが集まれる場所。 61 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 62 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。 63 農業だけでも生計が成り立つ仕組み。 		自然が多い地区なので、例えば、葉物ビジネスを立ち上げ地区グループをつくり、市・JA な
れは全く古い考え。十数年前から児童数が減る事は分かっていた事。少数での学校教育が子どもや保護者に与えるマイナス面が大きすぎる。自分の子どもは多くの仲間や友達の中で育てたい。複式学級は子どもがかわいそう。芦辺町のエリアを考えれば小学校は 1~2 校で十分。 52 一人暮らしの人達を見守る取組みが必要。 53 現状のままでいいのではないか? 農業や畜産業が多いと思いますが、携わったり学んだりする機会が少なくて、継承されなくなってきているのではないでしょうか。中学や高校でそのような場があるとよいと思う。 55 もう少し子どもが増えるといいなと思います。そのために、子育て世代が住みたくなるようなまちづくりが必要だと思います。 56 後継者がいて小学校全校60名はいる学校にしたい。 57 誰一人(独居老人)取り残さない地域づくり。特に高齢者。 8 老人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 59 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 60 子どもが集まれる場所。 61 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 62 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。		どに協力を得て取り組んでみては。
どもや保護者に与えるマイナス面が大きすぎる。自分の子どもは多くの仲間や友達の中で育てたい。複式学級は子どもがかわいそう。芦辺町のエリアを考えれば小学校は1~2校で十分。 52 一人暮らしの人達を見守る取組みが必要。 53 現状のままでいいのではないか? 64 農業や畜産業が多いと思いますが、携わったり学んだりする機会が少なくて、継承されなくなってきているのではないでしょうか。中学や高校でそのような場があるとよいと思う。 55 もう少し子どもが増えるといいなと思います。そのために、子育て世代が住みたくなるようなまちづくりが必要だと思います。 56 後継者がいて小学校全校60名はいる学校にしたい。 57 誰一人(独居老人)取り残さない地域づくり。特に高齢者。 8 老人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 59 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 60 子どもが集まれる場所。 61 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 62 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。 63 農業だけでも生計が成り立つ仕組み。	51	小学校の統合、とにかく早く。小学校がなくなると地域がすたれるとか言う人がいるが、そ
てたい。複式学級は子どもがかわいそう。芦辺町のエリアを考えれば小学校は 1~2 校で十分。 52 一人暮らしの人達を見守る取組みが必要。 53 現状のままでいいのではないか? 農業や畜産業が多いと思いますが、携わったり学んだりする機会が少なくて、継承されなくなってきているのではないでしょうか。中学や高校でそのような場があるとよいと思う。 55 もう少し子どもが増えるといいなと思います。そのために、子育て世代が住みたくなるようなまちづくりが必要だと思います。 56 後継者がいて小学校全校 60 名はいる学校にしたい。 57 誰一人(独居老人)取り残さない地域づくり。特に高齢者。 8 老人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 59 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 60 子どもが集まれる場所。 61 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 62 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。		れは全く古い考え。十数年前から児童数が減る事は分かっていた事。少数での学校教育が子
分。 52 一人暮らしの人達を見守る取組みが必要。 53 現状のままでいいのではないか? 54 農業や畜産業が多いと思いますが、携わったり学んだりする機会が少なくて、継承されなくなってきているのではないでしょうか。中学や高校でそのような場があるとよいと思う。 55 もう少し子どもが増えるといいなと思います。そのために、子育て世代が住みたくなるようなまちづくりが必要だと思います。 56 後継者がいて小学校全校 60 名はいる学校にしたい。 57 誰一人(独居老人)取り残さない地域づくり。特に高齢者。 58 老人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 59 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 60 子どもが集まれる場所。 61 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 62 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。 63 農業だけでも生計が成り立つ仕組み。		どもや保護者に与えるマイナス面が大きすぎる。自分の子どもは多くの仲間や友達の中で育
 52 一人暮らしの人達を見守る取組みが必要。 53 現状のままでいいのではないか? 54 農業や畜産業が多いと思いますが、携わったり学んだりする機会が少なくて、継承されなくなってきているのではないでしょうか。中学や高校でそのような場があるとよいと思う。 55 もう少し子どもが増えるといいなと思います。そのために、子育て世代が住みたくなるようなまちづくりが必要だと思います。 56 後継者がいて小学校全校 60 名はいる学校にしたい。 57 誰一人(独居老人)取り残さない地域づくり。特に高齢者。 58 老人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 59 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 60 子どもが集まれる場所。 61 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 62 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。 63 農業だけでも生計が成り立つ仕組み。 		てたい。 複式学級は子どもがかわいそう。 芦辺町のエリアを考えれば小学校は 1~2 校で十
 現状のままでいいのではないか? 農業や畜産業が多いと思いますが、携わったり学んだりする機会が少なくて、継承されなくなってきているのではないでしょうか。中学や高校でそのような場があるとよいと思う。 もう少し子どもが増えるといいなと思います。そのために、子育て世代が住みたくなるようなまちづくりが必要だと思います。 後継者がいて小学校全校60名はいる学校にしたい。 さんでも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 子どもが集まれる場所。 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。 農業だけでも生計が成り立つ仕組み。 		分。
 54 農業や畜産業が多いと思いますが、携わったり学んだりする機会が少なくて、継承されなくなってきているのではないでしょうか。中学や高校でそのような場があるとよいと思う。 55 もう少し子どもが増えるといいなと思います。そのために、子育て世代が住みたくなるようなまちづくりが必要だと思います。 56 後継者がいて小学校全校60名はいる学校にしたい。 57 誰一人(独居老人)取り残さない地域づくり。特に高齢者。 58 老人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 59 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 60 子どもが集まれる場所。 61 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 62 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。 63 農業だけでも生計が成り立つ仕組み。 	52	一人暮らしの人達を見守る取組みが必要。
なってきているのではないでしょうか。中学や高校でそのような場があるとよいと思う。 55 もう少し子どもが増えるといいなと思います。そのために、子育て世代が住みたくなるようなまちづくりが必要だと思います。 66 後継者がいて小学校全校60名はいる学校にしたい。 57 誰一人(独居者人)取り残さない地域づくり。特に高齢者。 8 老人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 59 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします)60 子どもが集まれる場所。 61 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 62 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。 63 農業だけでも生計が成り立つ仕組み。	53	現状のままでいいのではないか?
 55 もう少し子どもが増えるといいなと思います。そのために、子育て世代が住みたくなるようなまちづくりが必要だと思います。 56 後継者がいて小学校全校 60 名はいる学校にしたい。 57 誰一人(独居者人)取り残さない地域づくり。特に高齢者。 58 者人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 59 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 60 子どもが集まれる場所。 61 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 62 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。 63 農業だけでも生計が成り立つ仕組み。 	54	農業や畜産業が多いと思いますが、携わったり学んだりする機会が少なくて、継承されなく
なまちづくりが必要だと思います。 56 後継者がいて小学校全校 60 名はいる学校にしたい。 57 誰一人(独居老人)取り残さない地域づくり。特に高齢者。 58 老人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 59 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 60 子どもが集まれる場所。 61 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 62 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。 63 農業だけでも生計が成り立つ仕組み。		なってきているのではないでしょうか。中学や高校でそのような場があるとよいと思う。
 56 後継者がいて小学校全校 60 名はいる学校にしたい。 57 誰一人(独居老人)取り残さない地域づくり。特に高齢者。 58 老人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 59 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 60 子どもが集まれる場所。 61 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 62 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。 63 農業だけでも生計が成り立つ仕組み。 	55	もう少し子どもが増えるといいなと思います。そのために、子育て世代が住みたくなるよう
 57 誰一人(独居老人)取り残さない地域づくり。特に高齢者。 58 老人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 59 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 60 子どもが集まれる場所。 61 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 62 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。 63 農業だけでも生計が成り立つ仕組み。 		なまちづくりが必要だと思います。
 老人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 子どもが集まれる場所。 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。 農業だけでも生計が成り立つ仕組み。 	56	後継者がいて小学校全校 60 名はいる学校にしたい。
ても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。 59 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 60 子どもが集まれる場所。 61 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 62 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。 63 農業だけでも生計が成り立つ仕組み。	57	誰一人(独居老人)取り残さない地域づくり。特に高齢者。
 59 使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします) 60 子どもが集まれる場所。 61 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 62 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。 63 農業だけでも生計が成り立つ仕組み。 	58	老人でも住める地域になれば、子ども達も将来帰って来るつもりで、若い間だけ島から離れ
60 子どもが集まれる場所。 61 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 62 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。 63 農業だけでも生計が成り立つ仕組み。		ても親も安心して暮らしていける生活を送れるのではないか。
 高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。 農業だけでも生計が成り立つ仕組み。 	59	使用されたり、住まれていない古民家のリノベーション。(瀬戸の町がさびしい気がします)
62 歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。 63 農業だけでも生計が成り立つ仕組み。	60	子どもが集まれる場所。
63 農業だけでも生計が成り立つ仕組み。	61	高齢者が安全に生活できる地区になって欲しい。
	62	歳をとっても生活負担が少ない、安心・安全に暮らせる仕組みづくり。
64 地区民運動があったらいいと思う。	63	農業だけでも生計が成り立つ仕組み。
	64	地区民運動があったらいいと思う。

	箱崎地区の目指すべき将来像/まちづくり協議会での取組み
65	空き家が増えてきているので U ターンの推進。荒れた土地の有効活用が必要。買物が充実
	してくれると嬉しい。(衣類・靴など)
66	若い人が都会に出て行き、子ども達が少なく高齢化になっているので、若者に仕事があると
	6161°
67	市は地区の地元店をもう少し大事にせよ。大型店舗をなくせ。
68	小学校、PTA の活動を中心に公民館・青年会・老人会等がお互い支えあう社会。
69	人口の減少は確実なので、その後の方向性を地域ごとに決めておき、高齢化で行事や作業に
	も人が少なくなって来ているので、若い人が住み続けたくなる地域にしたい。
70	高齢者と若い人との接点を作って欲しい。環境づくり、体力づくり、食生活の推進等。
71	元気な高齢者が増えることも良いことだが、子どもの笑顔が増えて欲しい。
72	若い人が箱崎に残ってくれたり、帰ってきてくれる様な地域になったらいい。
73	まちづくり協議会で何を目指すのかはっきりされていない。それを考えずに地域に丸投げし
	た行政もどうかと思う。人口が減って、これまでの市民サービスや地域活動、農村部での生
	活ができない予測の下に企画されていると思うが、例えば、コンパクトシティ構想等行政主
	導のアプローチも必要ではないか。
74	3世代、4世代が共に暮らし、子ども達の笑い声が聞こえる家庭づくりと地域づくりが出来
	ると良いと思う。
75	耕作放棄地・空き家の有効利用。古民家利用→都会の人の宿泊施設→飲食店舗→インターネ
	ット環境を高速化。ソフトウェア開発企業の誘致。
76	健康で元気に過ごせる様な仕組みづくり。閉じこもりやひきこもりのない地域づくり。
77	産業振興。
78	買物お届便が欲しい。
79	若い夫婦が住める住宅を増やす。子どもも増えるし、地域の老人が子どもを見守る仕組みが
	できる。
80	旧箱中の跡地の利用は、壱岐の福祉の里づくりとして、特養ホーム施設や障害福祉施設を建
	設し、福祉の向上を目指している。更に島内においても、高齢者は増加するものの、人口は
	減少しているが、旧箱中グランドが現在空地であるが、なにも利用できていないので、障害
	施設か老人ホーム等、今後施設の建設も考えてはどうかと思う。
81	地区皆さんが健康づくりに参加できる場所を考える。
82	箱中復帰・更なる福祉の充実。
83	将来高齢者が増えてくるので、近所付き合いを大切にしていくこと。困っていることがあっ
	てもなかなか相談できない時に何かの方法で相談できるようになると良いと思います。
84	若い人の働ける場所が多くあると良いと思います。
85	箱崎地区は農業に力を入れている事はわかりますが、季節ごとに都会の方来て下さるよう
	な、例えばブドウ農園・柿・さつまいも・コメ・麦等そういう農業が出来ないでしょうか。
86	安心して住みよい地区になるように。まちづくり協議の中に駐在所にも入ってもらいたい。

	箱崎地区の目指すべき将来像/まちづくり協議会での取組み
87	仕方のないことかもしれませんが、荒れた畑が増えていて殺伐として悲しい感じ。学生は現
	状が把握できていないので、学生にも伝わるような情報提供をして欲しい。
88	伐採した木を捨てる場所を箱崎地区につくってもらいたい。祭・イベントの開催。(男女岳
	まつり復活)





地域での奉仕作業

箱崎中学校跡地

●今後まちづくり協議会設立に向けて、ワークショップを開催する予定ですがどういう 場であれば参加したいと思いますか。

ワークショップ(話し合いの場)に求めるもの	
仕事で昼間は参加出来ないので、夕方開催で、知らない人とも話が気軽に出来たらいい。	
キャッチボールしながら。	
自分の好みのものなら。	
世代を分けて話し合いを持つと、年も近いし話がしやすく思います。内容も簡単なものから。	
集まる時間も負担にならない程度に。	
誰でも自由に発言できる場所。	
つばさや地区公民館など座談会ができる雰囲気で、世代毎に参加を募る。	
公民館より茶菓子を提供して貰う。各組織や団体のリーダーの体験や活動紹介のミニ講和な	
ども良いと思います。	
年寄りですが、できることは何らかの形で参加したいと思います。	
高齢者と子どもがふれあえる場が創れればいいなと思います。	
幅広い年齢の方が集まれる場であれば、より参加してみたいです。	
子どもから老人まで多数参加できる場。	
あまりむずかしい話はいやだ。大ホール等は行きたくない。各校区位の少単位で。	
公民館の問題点(意見)を取り上げる。	
各公民館で開催し、多くの人の意見を反映出来る事。気軽に参加出来る事。	

15 同じ年代が集まれたら話す内容も会うのでは? 16 基本は老若関係なく集まれたら良いです。 17 年寄りが和める所。 18 各団体で話し合ったものを持ち寄る。他の団体の意見も知りたい聞きたい。 19 自分の意見を発表するのは抵抗があるので、意見を求められたものを見て再度話し合う。 20 子連れでの参加可であれば。(その間見てくれる人がいる事)音楽が流れていたり、お菓子や飲み物があって、堅苦しくない雰囲気。 21 近くのいこいの場。 22 幅広い年代の方が参加できるようなワークショップであれば、色々な意見も聞けると思う。 23 時間、日にちが合えば参加したいと思います。 24 防災無線他で周知して欲しい。老若男女が集まって意見を出し合える場であって欲しい。 25 どういう場でも積極的に参加したいと思います。 26 者いも若きも明るく楽しい生活。苦痛にならない交流。そんな機会や場所の提供開催。 27 なかなか理解出来ない質問ですが、意見が出しやすい場であれば参加したい。 28 気軽に話せる場がいいと思います。 29 どんなことでも気軽に意見を出せる場。そして、どんな些細なことでも真剣に対応してもらえる場であって欲しい。 30 同世代で他種の仕事や事業者などの集まり。 31 世代別に分かれた場。
 17 年寄りが和める所。 18 各団体で話し合ったものを持ち寄る。他の団体の意見も知りたい聞きたい。 19 自分の意見を発表するのは抵抗があるので、意見を求められたものを見て再度話し合う。 20 子連れでの参加可であれば。(その間見てくれる人がいる事)音楽が流れていたり、お菓子や飲み物があって、堅苦しくない雰囲気。 21 近くのいこいの場。 22 幅広い年代の方が参加できるようなワークショップであれば、色々な意見も聞けると思う。 23 時間、日にちが合えば参加したいと思います。 24 防災無線他で周知して欲しい。老若男女が集まって意見を出し合える場であって欲しい。 25 どういう場でも積極的に参加したいと思います。 26 老いも若きも明るく楽しい生活。苦痛にならない交流。そんな機会や場所の提供開催。 27 なかなか理解出来ない質問ですが、意見が出しやすい場であれば参加したい。 28 気軽に話せる場がいいと思います。 29 どんなことでも気軽に意見を出せる場。そして、どんな些細なことでも真剣に対応してもらえる場であって欲しい。 30 同世代で他種の仕事や事業者などの集まり。 31 世代別に分かれた場。
18 各団体で話し合ったものを持ち寄る。他の団体の意見も知りたい聞きたい。 19 自分の意見を発表するのは抵抗があるので、意見を求められたものを見て再度話し合う。 20 子連れでの参加可であれば。(その間見てくれる人がいる事)音楽が流れていたり、お菓子や飲み物があって、堅苦しくない雰囲気。 21 近くのいこいの場。 22 幅広い年代の方が参加できるようなワークショップであれば、色々な意見も聞けると思う。 23 時間、日にちが合えば参加したいと思います。 24 防災無線他で周知して欲しい。老若男女が集まって意見を出し合える場であって欲しい。 25 どういう場でも積極的に参加したいと思います。 26 者いも若きも明るく楽しい生活。苦痛にならない交流。そんな機会や場所の提供開催。 27 なかなか理解出来ない質問ですが、意見が出しやすい場であれば参加したい。 28 気軽に話せる場がいいと思います。 29 どんなことでも気軽に意見を出せる場。そして、どんな些細なことでも真剣に対応してもらえる場であって欲しい。 30 同世代で他種の仕事や事業者などの集まり。 31 世代別に分かれた場。
 自分の意見を発表するのは抵抗があるので、意見を求められたものを見て再度話し合う。 子連れでの参加可であれば。(その間見てくれる人がいる事)音楽が流れていたり、お菓子や飲み物があって、堅苦しくない雰囲気。 近くのいこいの場。 幅広い年代の方が参加できるようなワークショップであれば、色々な意見も聞けると思う。 時間、日にちが合えば参加したいと思います。 防災無線他で周知して欲しい。老若男女が集まって意見を出し合える場であって欲しい。 どういう場でも積極的に参加したいと思います。 老いも若きも明るく楽しい生活。苦痛にならない交流。そんな機会や場所の提供開催。 なかなか理解出来ない質問ですが、意見が出しやすい場であれば参加したい。 気軽に話せる場がいいと思います。 どんなことでも気軽に意見を出せる場。そして、どんな些細なことでも真剣に対応してもらえる場であって欲しい。 同世代で他種の仕事や事業者などの集まり。 世代別に分かれた場。
20 子連れでの参加可であれば。(その間見てくれる人がいる事)音楽が流れていたり、お菓子や飲み物があって、堅苦しくない雰囲気。 21 近くのいこいの場。 22 幅広い年代の方が参加できるようなワークショップであれば、色々な意見も聞けると思う。 23 時間、日にちが合えば参加したいと思います。 24 防災無線他で周知して欲しい。老若男女が集まって意見を出し合える場であって欲しい。 25 どういう場でも積極的に参加したいと思います。 26 老いも若きも明るく楽しい生活。苦痛にならない交流。そんな機会や場所の提供開催。 27 なかなか理解出来ない質問ですが、意見が出しやすい場であれば参加したい。 28 気軽に話せる場がいいと思います。 29 どんなことでも気軽に意見を出せる場。そして、どんな些細なことでも真剣に対応してもらえる場であって欲しい。 30 同世代で他種の仕事や事業者などの集まり。 31 世代別に分かれた場。
や飲み物があって、堅苦しくない雰囲気。 21 近くのいこいの場。 22 幅広い年代の方が参加できるようなワークショップであれば、色々な意見も聞けると思う。 23 時間、日にちが合えば参加したいと思います。 24 防災無線他で周知して欲しい。老若男女が集まって意見を出し合える場であって欲しい。 25 どういう場でも積極的に参加したいと思います。 26 老いも若きも明るく楽しい生活。苦痛にならない交流。そんな機会や場所の提供開催。 27 なかなか理解出来ない質問ですが、意見が出しやすい場であれば参加したい。 28 気軽に話せる場がいいと思います。 29 どんなことでも気軽に意見を出せる場。そして、どんな些細なことでも真剣に対応してもらえる場であって欲しい。 30 同世代で他種の仕事や事業者などの集まり。 31 世代別に分かれた場。
 近くのいこいの場。 幅広い年代の方が参加できるようなワークショップであれば、色々な意見も聞けると思う。 時間、日にちが合えば参加したいと思います。 防災無線他で周知して欲しい。老若男女が集まって意見を出し合える場であって欲しい。 どういう場でも積極的に参加したいと思います。 老いも若きも明るく楽しい生活。苦痛にならない交流。そんな機会や場所の提供開催。 なかなか理解出来ない質問ですが、意見が出しやすい場であれば参加したい。 気軽に話せる場がいいと思います。 どんなことでも気軽に意見を出せる場。そして、どんな些細なことでも真剣に対応してもらえる場であって欲しい。 同世代で他種の仕事や事業者などの集まり。 世代別に分かれた場。
 22 幅広い年代の方が参加できるようなワークショップであれば、色々な意見も聞けると思う。 23 時間、日にちが合えば参加したいと思います。 24 防災無線他で周知して欲しい。老若男女が集まって意見を出し合える場であって欲しい。 25 どういう場でも積極的に参加したいと思います。 26 者いも若きも明るく楽しい生活。苦痛にならない交流。そんな機会や場所の提供開催。 27 なかなか理解出来ない質問ですが、意見が出しやすい場であれば参加したい。 28 気軽に話せる場がいいと思います。 29 どんなことでも気軽に意見を出せる場。そして、どんな些細なことでも真剣に対応してもらえる場であって欲しい。 30 同世代で他種の仕事や事業者などの集まり。 31 世代別に分かれた場。
23 時間、日にちが合えば参加したいと思います。 24 防災無線他で周知して欲しい。老若男女が集まって意見を出し合える場であって欲しい。 25 どういう場でも積極的に参加したいと思います。 26 老いも若きも明るく楽しい生活。苦痛にならない交流。そんな機会や場所の提供開催。 27 なかなか理解出来ない質問ですが、意見が出しやすい場であれば参加したい。 28 気軽に話せる場がいいと思います。 29 どんなことでも気軽に意見を出せる場。そして、どんな些細なことでも真剣に対応してもらえる場であって欲しい。 30 同世代で他種の仕事や事業者などの集まり。 31 世代別に分かれた場。
 24 防災無線他で周知して欲しい。老若男女が集まって意見を出し合える場であって欲しい。 25 どういう場でも積極的に参加したいと思います。 26 老いも若きも明るく楽しい生活。苦痛にならない交流。そんな機会や場所の提供開催。 27 なかなか理解出来ない質問ですが、意見が出しやすい場であれば参加したい。 28 気軽に話せる場がいいと思います。 29 どんなことでも気軽に意見を出せる場。そして、どんな些細なことでも真剣に対応してもらえる場であって欲しい。 30 同世代で他種の仕事や事業者などの集まり。 31 世代別に分かれた場。
 25 どういう場でも積極的に参加したいと思います。 26 老いも若きも明るく楽しい生活。苦痛にならない交流。そんな機会や場所の提供開催。 27 なかなか理解出来ない質問ですが、意見が出しやすい場であれば参加したい。 28 気軽に話せる場がいいと思います。 29 どんなことでも気軽に意見を出せる場。そして、どんな些細なことでも真剣に対応してもらえる場であって欲しい。 30 同世代で他種の仕事や事業者などの集まり。 31 世代別に分かれた場。
26 老いも若きも明るく楽しい生活。苦痛にならない交流。そんな機会や場所の提供開催。 27 なかなか理解出来ない質問ですが、意見が出しやすい場であれば参加したい。 28 気軽に話せる場がいいと思います。 29 どんなことでも気軽に意見を出せる場。そして、どんな些細なことでも真剣に対応してもらえる場であって欲しい。 30 同世代で他種の仕事や事業者などの集まり。 31 世代別に分かれた場。
 27 なかなか理解出来ない質問ですが、意見が出しやすい場であれば参加したい。 28 気軽に話せる場がいいと思います。 29 どんなことでも気軽に意見を出せる場。そして、どんな些細なことでも真剣に対応してもらえる場であって欲しい。 30 同世代で他種の仕事や事業者などの集まり。 31 世代別に分かれた場。
 28 気軽に話せる場がいいと思います。 29 どんなことでも気軽に意見を出せる場。そして、どんな些細なことでも真剣に対応してもらえる場であって欲しい。 30 同世代で他種の仕事や事業者などの集まり。 31 世代別に分かれた場。
 29 どんなことでも気軽に意見を出せる場。そして、どんな些細なことでも真剣に対応してもらえる場であって欲しい。 30 同世代で他種の仕事や事業者などの集まり。 31 世代別に分かれた場。
える場であって欲しい。30同世代で他種の仕事や事業者などの集まり。31世代別に分かれた場。
30 同世代で他種の仕事や事業者などの集まり。 31 世代別に分かれた場。
31 世代別に分かれた場。
32 小学校の体育館とか公民館等。
33 家を空ける回数が少なく済むもの。何かの会合や会議とセットにしてとか。
34 男性ばかり女性ばかりだと、少ない人数になった側は少々行きづらいかも。
35 まず公民館単位でワークショップがあればいい。
36 多い人数の中では意見が出しにくいので、公民館レベルでの集まり。その中でも女性のみ老
人会のみ青年会のみ等お茶のみ会の雑談。
37 子どもも参加できるワークショップ。
38 業種、分野ごとの集まりが話合いしやすいかな?
39 ワークショップ後に懇親会をして欲しい。
40 すべての年代で話が出来る、また聞くことが出来るワークショップを。
41 子ども達が壱岐で過ごしたいと思う町づくりについて話し合いたい。
42 地区別であれば参加したい。
43 気軽に立ち寄れる場。
44 生活の負担にならないなら。
45 あまり参加したくないのでよくわからない。
46 やっぱり自分の部落は自分の部落で集合して話合いをすると良いと思う。
47 希望、未来、喜びを感じられる場所。話合い。

	ワークショップ(話し合いの場)に求めるもの	
48	自分達が出す意見が現実にできるようになるのであれば参加しても良いかと思います。たく	
	さん意見が出ても形にならないような事が多いので、何のためにワークショップが開催され	
	ているのかわからない。	
49	壱岐の伝統料理又は壱岐産材料を使っての新作料理、地域の伝統行事をアピールして観光客	
	に紹介する。温暖化で海の枯渇を止める取組み等の内容であれば。	
50	何について話すのか明確な議題があれば人が集まると思うが、話す内容も特に周知なくワー	
	クショップを開催致しますでは行こうと思わない。	
51	気楽に参加できて、楽しい雰囲気で意義深い話合いのできる成長の場であって欲しい。	
52	自給率を上げる為の農業の仕方。(土づくり・野菜・果物の育て方。農業の魅力、農機具の支	
	援。自身の作った物で健康食材、料理方法で、ご当地料理のブランド化等。加工食品のネッ	
	ト販売)	
53	会誌発行があれば。地区の良き発信となる。	
54	今後まちづくりの話合いの場としては、若い人から高齢者まで形にはまった会ではなく、気	
	軽にいろんな意見が出る場を作ることが必要。それを行うことで考えてもない意見が出るの	
	ではないかと思う。	
55	何でも気軽に話し合える場所づくりの提供。	
56	身近なテーマで、特に意見がなくても気軽に参加できるような場であれば行ってみたいで	
	す 。	
57	必要だと思えるテーマのとき。	
58	気楽に参加出来る事。意見など小さいことでも取り上げていただくこと。	
59	幅広い年齢層が参加できる時間帯曜日など設定。	
60	子どもも参加できるように。子どもを預かってもらえるスペースあれば。	
61	公民館で開催。	





子ども部会

小学生。中学生アンケート

●箱崎小学校、芦辺中学校(箱崎地区在住の生徒)にも先生方のご協力のもと、アンケートを実施しました。貴重なご意見ありがとうございました。

≪小学生≫ 回答総数:34名

問1. まいにちのせいかつでしんぱいなことや、こまっていることはありますか?

1	ありません。だいじょうぶです。
2	集団登校で友達によびすてにされるからいやだ。
3	集団登校で走っていることが時たまある。
4	登校するときにごちゃごちゃになっているから並んで登校したい。
5	箱小グランドに野良犬がいるから困っています。
6	ごみや、タバコがすててあるときがある。
7	くもの巣がある。
8	集団登校中にしゃべっている。
9	集団登校が遅い。集団登校で 45 分までに着かないこと。
10	散歩している時、へびや野良犬がいてこわい。
11	いんごろ坂の頂上ぐらいの所から水がでている。
12	放し飼いの犬が追いかけてくることや、吠えたりすることが困っています。

問2. 箱崎ちくで、じまんできるもの(ばしょ、人、ぎょうじなど)をおしえてください。

1	自然・お祭り・もちつき。
2	運動場。
3	しまのたまごや。たまごがおいしすぎるからです。
4	自然・いき牛。
5	スーパーマーケットに行けること。
6	魚がおいしい。
7	芦辺中学校・ハッピーヒルズ。
8	神社•自然。
9	自然がいっぱいで心がやさしい人がいっぱいいるところ。
10	やへえさんのお墓。
11	谷江川。
12	八幡神社。
13	おんだこを作っている平尾さん。
14	(人)小山やへえさん・(場所)八幡神社・男嶽、女嶽・(行事)体験学習。
15	諸津観音。
16	箱小の全員・小山弥兵衛・お祭。

問3. 箱崎ちくにあったらいいなあとおもうしせつ、イベント、おみせをおしえてください。

1	い周・おかしかさん
	公園・おかしやさん。
2	長いすべり台。
3	長生きした人を祝うイベント。
4	回転寿司。
5	バッティングセンター。
6	ホテル。
7	楽しい店。
8	みんなでゴミひろいや木を集めるイベント。きれいになると思います。
9	野球場。
10	花火大会。
11	大きいお店。
12	ゲームセンター。
13	パンケーキ屋。
14	洋服屋・スポーツ店・くつ屋・スーパーマーケット。
15	公園・おかしやさん。
16	花火。
17	公園。
18	ドラッグストア・コインランドリー・電気店。
19	コンビニ。
20	中学校・回転寿司。
21	だがし屋・食べ物を食べられる所・文房具店。
22	どの世代の人も楽しく仲良く交流できるふれあいの場。(施設)



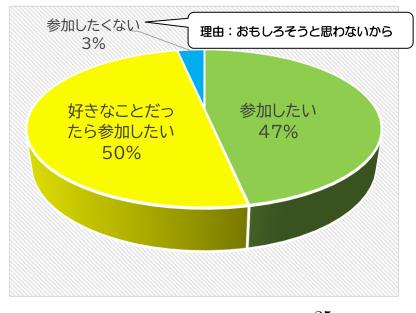


箱崎八幡神社

問4. みんながすんでいる箱崎ちくは、しょうらいどのようになってほしいですか。

<u> </u>	アルスカットのでは、日本国語のでは、日本のコントにのののになってはのでしてする。
1	人がいっぱいふえてほしい。
2	自然はそのままで人がふえてほしい。
3	そのまま。
4	きれいになってほしい。
5	とても平和になってほしい。
6	ゆずりあいのある箱崎地区になってほしい。
7	きれいで道が広くなればいい。車も通りやすいから。
8	にこにこがあふれて、ゴミーつない。
9	楽しくなってほしい。
10	みんなを元気にしてほしい。
11	人口がふえてほしい。
12	みんなが住みやすくて、事故がないところ。
13	人口がふえてほしい。
14	自然ゆたかな箱崎地区
15	活気のあるすばらしい地区
16	みんながたのしく暮らせるようになってほしい。
17	きれいでみんなから「はこざきちくはいいね」と声がかかるようにしたい。
18	人が多くなってたくさんの子どもができてほしい。
19	ゴミがない街
20	人口が増え、箱中が復活してほしい。
21	笑顔のあふれることは、どこにも負けない地区。
22	楽しく暮らせ、明るくにぎやかになってほしい。

問5. ちいきのぎょうじにさんかしたいとおもいますか?





≪中学生≫ 回答総数:26名

問1. あなたが普段の生活で不安に感じていること、困っていることはありますか?

1	箱崎中山付近で大型の野犬がうろついている。
2	裏山がいつくずれるかわからない。
3	野犬が多い。
4	土砂崩れ対策をして欲しい。物騒(暗い)。
5	ポイ捨てされている。環境が気になる。
6	大雨が降ったり、風が吹いたときに土砂崩れがおきないか。
7	江角東地区に放し飼いの犬がたくさんいてこわい。

問2. 箱崎地区で自慢できるもの・こと・場所等について教えて下さい。

1	箱崎の中でも触によって地形が違い特色がある。
2	自然がたくさんあること。
3	八幡神社。
4	男嶽神社。
5	パワースポットがたくさんあるところ。
6	諸津観音。
7	中山公民館。
8	東河交流・小山弥兵衛・くすのき。
9	おんだこ。
10	風車。
11	男女ダム公園です。少し登っていくと展望台から周辺を見渡せることができる
	のです。気持ちが爽やかになります。箱崎諸津触の海が自慢です。
12	地域の人たちがとても親切。
13	箱崎地区に壱岐市長が住んでいること。みんな親切。

問3. 箱崎地区にあったらいいなと思う施設・イベント・お店等についてお教えて下さい。

1	子ども達が集まって参加できるもの。工作とか・料理とか?
2	大きめのショッピングモール。
3	専門店。
4	パワースポットにちなんでいろんなイベントなどを開いて欲しい(男嶽など)。
	小山弥兵衛関係。
5	コンビニ・専門店
6	郷ノ浦にあるようなお店。それか洋服の専門店や雑貨の専門店。ちいさな店で
	もいいから作ってほしい。
7	箱崎のお祭り。体育会→遊んだりすること。たこあげ。

8	祭り、体育行事気軽に行ける楽しいお店。
9	地区対抗のイベント(駅伝や体育行事など)ウォークラリー。地域を歩いてゴミ
	拾い。
10	本屋。
11	箱崎祭を年に一度地域内で出店を出してする。
12	男嶽神社・女嶽神社・諸津観音・男女ダム・丘坂神社。
13	もっと友達と遊べるような施設。

問4. 箱崎地区は将来どのようになってほしいですか。そのためにはどのような取組みが 必要だと思いますか。

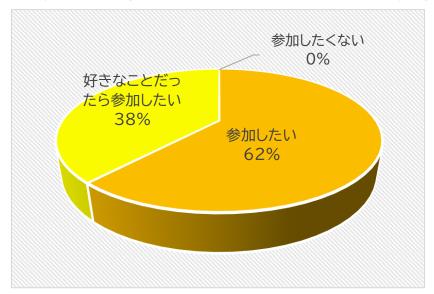
	<u> </u>
1	箱崎に小さい子が少ないため若い人の働き口を増やして地域に残ってもらう。
2	都会になってほしい。建物を増やす。
3	たまにポイ捨てがされてあるのでボランティアなど。
4	このまま変わらずにいてほしい。普段通り過ごす。
5	子どもでも住みやすく、ストレスなく過ごせるようになってほしい。
6	にぎやかな暮らし→イベントを作って楽しくする。
7	諸津観音をきれいにしたい。もう少しにぎやかに。
8	小さい子から高齢者まで楽しんで過ごせる場所。みんなが安心して暮らせる場
	所。交流をする。防犯強化。
9	みんなが楽しく協力しあう箱崎地区。
10	働ける場所がもっと欲しい。そのために高齢者だけでなく若者が増えたらいい。
	増えないなら都会から若者が来るようにして欲しい。
11	環境が良い地域。1回か2回くらい町のゴミ拾いを行う。
12	もっと人が増えて活気ある地区。イベントをひらく。PR 動画をつくる。
13	箱崎地区にある自然を利用している街になって欲しいと思います。その為に自
	然を大切にして身近に感じる事が必要だと思います。
14	とてもあたたかみのある地区で、島外から帰ってきたり島外から旅行に来た人
	たちなどが笑顔になれる町。
15	高齢化社会が深刻してきていると思うので、子どもたちで活気あふれる箱崎地
	区になって欲しいです。そのために公園やイベントを取り入れるといいかな。
16	地域の交流が盛ん。
17	箱崎に人が増えて欲しい。





女嶽神社「巣食石」

問5. 地域の行事にすすんで参加したいと思いますか。(祭・体育行事等)





アンケートへのご協力ありがとうございました。



4. 箱崎地区の組織・団体

箱崎地区公民館連絡協議会、老人クラブ、婦人会、青年会、箱崎小学校・箱崎幼稚園 PTA、 壱岐市消防団芦辺地区第11分団、箱崎地区社会福祉協議会、箱崎地区体育協会、壱岐 市農協青年部箱崎支部、壱岐市農協女性部箱崎支部、箱崎漁協、壱岐市商工会、壱岐警察署箱崎駐在所、その他関係団体





安全•安心部会

老人クラブ活動

5. 箱崎地区の現状と課題

■地域全体で高齢化への対応が求められている

箱崎地区の高齢化率は令和2年1月1日現在 39.2%と、壱岐市全体の 37.0%を上回っている。データをみると人口減少、高齢者増加が特徴で、特に子どもの減少が確実に進んでおり、今後の対策が望まれています。また、若者の一人暮らしや夫婦のみ、高齢者のみの世帯も年々増加しています。これからは地域全体での見守りや、買い物など生活支援、災害時等への取り組みのさらなる充実が不可欠となっています。

■子ども会への加入や、地域行事へ親子での参加が望まれる

前述したように地区全体での少子化に加え、近年、ライフスタイルや価値観の変化、また核家 族化などにより、子ども会への加入者数が減少し活動自体も縮小しています。

今後はさまざまな体験や、他の組織・団体との交流の機会を増やすことによって、地域の宝である子どもたちが、元気よく活動できる取り組みが必要となっています。また、防犯パトロール隊や登下校時における「見守り隊」のさらなる充実、アンケート調査でも意見の多かった子どもが安心して遊べる広場の整備や、通学路の環境整備などが求められています。

■防災に対する住民の意識は高い

アンケート調査によると、これから地区に必要な地域活動として「防災活動」が最も高くなっています。これは災害に対する住民意識の高まりを示しています。一方で、災害時に隣近所に住む方がわからない等の意見も出ており、普段からのふれあいや交流で住民同士のつながりを深め、災害に対する地区全体の意識の醸成が求められています。また、住民ワークショップやアンケート調査で、道路や歩道が狭いなどといった環境面や、交通安全に対しての問題点が多く出されています。このように、子どもから高齢者が安心して暮らせる地区への取り組みが必要となっています。

■自然に恵まれた地区だが、今後は住環境の整備、利便性の向上を

海、山、川と大いなる自然に恵まれている箱崎地区。住民は、この自然に誇りを持ち、地区全体で守って次世代につなげていこうという意識も高く、自然環境の維持を目的としたゴミ拾いなどの環境にやさしい取り組みを実施しています。しかし、生活排水等による谷江川の汚れや不法投棄、ゴミの未分別などの問題点も指摘されています。また、場所によっては、交通の便が悪い、街灯が少ない場所があるという意見や、高齢者などの買い物弱者への対策など、今後は生活基盤の改善、利便性の向上を目指し、より住みやすい地域にしていくことが望まれます。

■豊富な史跡や伝統芸能の保存継承が課題、また産業の活性化が望まれる

箱崎地区の魅力に、史跡や伝統芸能などがあり、地域で保存に向けての努力が続けられています。しかし、後継者の不足などによりこれらの保存、継承が難しくなってきています。今後は、この箱崎地区の財産を次世代に伝え残すことを広くPRし、観光資源として確立することなどが課題となっています。また、豊かな自然を背景とした産業の振興も箱崎まちづくり協議会として取り組むべき課題といえます。これからは、地域と行政との協働で農業や漁業の活性化を図り、地産地消を促すとともに、六次産業化まで視野に入れた地域の地力の底上げが求められています。

6. 箱崎地区のビジョン 箱崎地区の将来像を以下に示します。

「は」はないっぱいで住みよいまち

「こ」こどもからお年寄りまでみんなが主役のまち

「ざ」ざっくばらんにコミュニケーションできるまち

「き」きらきら笑顔と自然がいっぱいあふれるまち



また、将来の箱崎地区はどうあるべきか、アンケートや各部会での協議を通して、地域の皆さんから寄せられた意見等を参考にして、今後の在り方を検討してきました。各組織の活動を時代に合った形で続けていきたい、子どもや高齢者同士で集まる場所が欲しい、災害の際に隣近所で助け合いをしたい…等々。すべての根元にあるものは「人と人とのつながり」=「きずな」であるとして、副題についても以下のとおり設定します。

将来像「自然豊かで魅力あるまち はこざき」

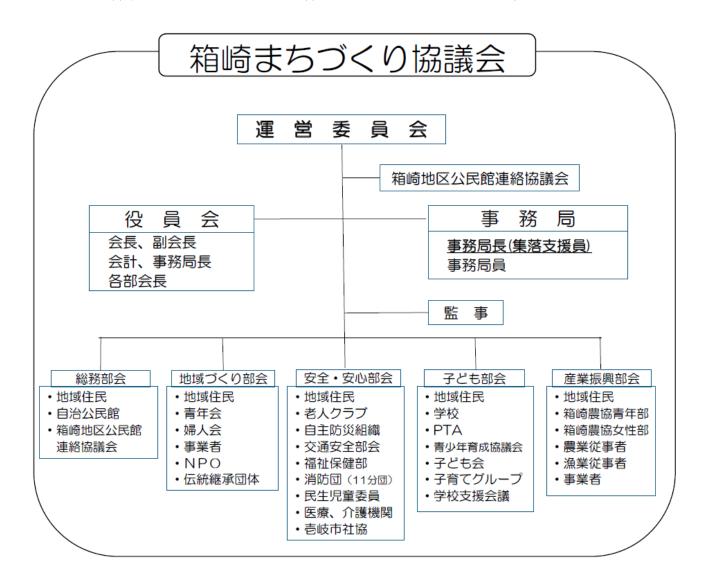
~子どもからお年寄りまで、きずなを大切にするまち~



男岳山展望台からの眺め

7. 箱崎まちづくり協議会組織図

箱崎まちづくり協議会は、箱崎地区の住民をはじめ、箱崎地区で活動されている各種団体・組織で構成されています。箱崎地区における課題・問題等を住民自らが考え、箱崎地区の将来あるべき姿の実現を目指すため、5つの専門部会を設置し、住民皆さんの意見が反映される体制を図りながら、住民主体のまちづくりを目指します。



≪各部会の活動内容≫

【総務部会】広報誌発行、コミュニティバス運行、計画進捗確認など 【地域づくり部会】環境美化、環境整備、地域伝統行事、三世代交流事業など 【安全・安心部会】防災訓練、防災マップ、健康づくり、高齢者福祉、買い物支援など 【子ども部会】通学路整備、集える場所の確保、小山弥兵衛さんに係る活動など 【産業振興部会】観光活性化、地域イベント支援、特産品開発など

8. 事業計画(実施時期:★★★1-2年、★★3-5年、★6-10年)

ここでは、箱崎まちづくり協議会の活動についてお知らせします。 各部会で様々な事業計画を掲載していますが、部会間の「情報交換」を活発におこない、 様々な組織や団体が横のつながりをもって、協働のまちづくりを目指します。

※壱岐市は政府から SDGs 未来都市に選定され、「誰一人取り残さない」仕組みづくりを推進していることから、箱崎まちづくり協議会での活動が SDGs の 17 ある目標の、どの目標に関係するのかを併せてご紹介します。(SDGs については、47 ページをご参照ください。)

《子ども部会》

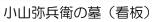
KS C CUPA!					
【野犬対策】★★★					
事業内容	地域内の野犬対策。				
現 状	箱崎小学校区内で野犬が多く、子どもたちに危害を及ぼす可能性がある。				
課題	野犬の確保を行い、子どもたちが安心して安全に通学できるようにする。				
事業計画	野犬についての情報収集を行い、市と連携して野犬確保の強化に努める。				
SDGs	3 すべての人に				

【通学路整例	【通学路整備】★★★				
事業内容	子どもたちが安心して通学できるための環境整備。				
現 状	通学路に横断歩道がない所や、途中にため池や暗い所があり、子ども達か				
	ら不安という意見がある。				
課題	学校・家庭・地域が連携して子どもを取り巻く危険から守る必要がある。				
事業計画	通学路の点検をおこない、危険箇所等の把握・改善に努め、保護者の不安				
	解消につなげる。				
SDGs	3 すべての人に 健康と福祉を 4 質の高い教育を みんなに 16 平和と公正を すべての人に				

【集える場所の確保】★★★				
事業内容	子どもたちが集える場所の確保。			
現	長期休暇や放課後の子どもたちの居場所や遊び場が少ない。			
課題	小学校以外での子どもたちが集える場所や機会が少なく、公民館などを活			
	用して一緒に遊んだり、勉強ができる環境づくりが必要。また、小学校の			
	行事等に地域の方が参加しやすい環境づくりの構築。			
事業計画	長期休暇や放課後の子どもたちが集える居場所の環境づくりをしていく。			
	また、学校で行われている運動会やもちつき大会などを通じて保護者だけ			
	ではなく、地域を巻き込んで交流の機会を増やしていく。			
SDGs	1 貧困を なくそう 4 質の高い教育を みんなに 17 パートナーシップで 目標を達成しよう			

【小山弥兵復	【小山弥兵衛さんの広報活動】★★★				
事業内容	小山弥兵衛さんについての広報活動。				
現 状	子どもたちは小山弥兵衛さんについて、学習発表会や兵庫県朝来市との交				
	流をとおして認知しているが、地域の大人にあまり認知されていない。				
課題	小山弥兵衛さんについて大人が知る機会が少ないため、多くの方に知って				
	もらえるよう広報活動が必要。				
事業計画	小山弥兵衛さんを島内の多くの方へ知ってもらえるよう広報活動を行う。				
	さらに、箱崎本村にある小山弥兵衛さんのお墓の看板を改良し、目に留ま				
	るようにする。また、以前から交流のある兵庫県朝来市との交流を行う。				
SDGs	4 質の高い教育を みんなに 17 パートナーシップで 目標を達成しよう				







兵庫県朝来市との交流

《安全・安心部会》

【シニア世紀	【シニア世帯の交流及び地域の健康づくりへの取組】★★★				
事業内容	ご高齢や一人暮らしの世帯の方を対象に、少人数からのグループを作り、				
	自宅や近くの建物での定期的なサロンを開く。このサロンへ見回りを兼ね				
	た「(仮称) はこざき活きなアドバイザー (健康づくりアドバイザー)」が				
	参加し、健康づくりや防犯をはじめ様々な情報の提供や指導、ご意見を聞				
	く。また、「(仮称) はこざき活きなアドバイザー (健康づくりアドバイザ				
	ー)」は各自治公民館の福祉保健部とともに、特定検診の勧奨や健康づく				
	りに関する取組を実施する。				
現 状	ご高齢や一人暮らしの世帯が増加し、外出を控える傾向にあることから、				
	コミュニケーション不足や地域からの孤立、相談相手(拠り所)がない。				
	特定健診の意義や必要性、経済的な負担軽減等の有用な情報が周知しきれ				
	ていない。				
課題	ご高齢や一人暮らしの方などが、元気に楽しく、日々安心して生活するに				
	は、コミュニケーションや外出といった活発な活動を支える地域の体制づ				
	くりが必要。また、特定検診の受診や健康づくりの取組が、義務的ではな				
	く、自主的な取組となる地域の雰囲気づくりが必要。				
事業計画	地域や参加者に応じたグループ(サロン)を作り、コミュニケーションの				
	場づくりを支援する。また、「(仮称) はこざき活きなアドバイザー (健康				
	づくりアドバイザー)」による見守りや身近な相談役、健康づくりなどの				
	情報発信を担う人材を育成し、高齢者の不安を取り除き、詐欺被害等を未				
	然に防止する。				
SDGs	1 貧困を なくそう 3 すべての人に 11 住み続けられる 17 パートナーシップで まちづくりを まちづくりを				
	■ なくそう ■ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●				

【防災と危機管理に対する取組】★★★					
事業内容	安全・安心のまちづくりのために、防災・減災への取組を行う。				
現 状	消防団や自主防災組織はあるが、自然災害等における実効的な計画などの 整備が万全でない。地域間での協力・支援体制が、協議されていない。				
課題	防災マップを作成し、防災マップを基にした訓練等を実施し、防災意識の 高揚を図ることが必要。また、避難ルートの周知、要支援者の把握、危険 箇所の把握と改善など、現状把握と予防(対策)が必要。				

事業計画	自治公民館及び自主防災組織と連携してその地域に応じた、わかりやすく使いやすい防災マップを作成・配付する。また、防災マップを活用した防災訓練を定期的に実施し、防災意識の高揚とマップ、防災計画(避難所等)の検証、現場の状況点検、自主防災組織間の情報共有や相互支援などの確認及び防災資機材の整備と備蓄品の管理を行う。 防災マップの作成に当たって、ご高齢の方や障がいをお持ちの方、一人暮				
	らし方など、支援を必要とする方の把握とその方々への防災への意識啓発を行う。また、避難ルート上や地域の危険箇所の把握と改善計画(緊急・年次)を作成する。 災害等における「自助」、「共助」の考え方を地域で共有し、地域の防災力を高める。				
SDGs	13 気候変動に				



《地域づくり部会》

【地域の環境	竟づくり】★★				
事業内容	自治公民館での道つくりで対応できない箇所の環境整備や、各団体の連携				
	による花いっぱい運動等による環境美化に努める。また、子どもから高齢				
	者まで、健康で活力あふれる地域をつくり、暮らしやすい環境を整える。				
現状	特に自治公民館での道つくりにおいて、高齢化や人手不足等により整備で				
	きない箇所がある。また、遊休土地の利活用ができていない。				
課題	人材の確保・団体間の連携。				
事業計画	「お助け隊」を設置し、意欲のある方について「お助け隊」への登録を依				
	頼し、人手不足の活動について支援をおこなう。				
	また、子ども会や婦人会、中山間組織との連携を図り、花いっぱい運動等				
	を行い、地域の環境美化に努める。				
	荒廃している旧箱崎中学校グラウンドの利活用を関係団体と連携を図り、				
	地域活性化に繋がる整備を行う。併せて藤棚再編整備に努め、遊休土地の				
	利活用を行い、景観生成に寄与する。				
	子どもから高齢者まで、あらゆる活動に積極的に参加してもらうため、情				
	報発信や啓発活動に努め、健康で暮らしやすい環境づくりを行う。				
SDGs	13 気候変動に 具体的な対策を まちづくりを 15 陸の豊かさも 守ろう 17 パートナーシップで 目標を達成しよう				

【伝統行事の	の継承・三世代交流の推進】★
事業内容	受け継がれてきた箱崎の伝統文化を若い世代へ継承します。併せて、三世
	代交流の推進を行う。
現 状	小山弥兵衛さんや鬼凧などの伝統文化について理解が薄い。三世代交流の
	場が少ない。
課題	箱崎地区における伝統文化継承及び三世代交流のための機会の創出。
事業計画	箱崎本村にある「小山弥兵衛」さんについて理解を深め、交流のある兵庫
	県朝来市との親交を深める。また、伝統文化である「鬼凧」づくりを、新
	たな工夫も取り入れながら、若い世代が趣旨を理解し、積極的に参加でき
る環境を整え、伝統文化の継承と箱崎地区の活性化につなげる	
	現在行われている、小学校でのもちつき大会等への積極的な参加を促し、
	三世代交流の場を提供し、充実した活動となるよう推進する。

SDGs







【男嶽神社	・ 女嶽神社】★★					
事業内容	男嶽神社及び女嶽神社周辺の環境整備をおこない、観光客をさらに呼び込					
	ರು.					
現 状	パワースポットとして知名度があり、観光客が多く訪れているが、周辺環					
	境が十分に整備されておらず、観光客が引き返すケースがある。					
課題	特に女嶽神社への参道等の環境整備が必要(看板設置、道路整備等)					
事業計画	男女岳ダム開発推進委員及び神社の総代など、関係者との協力のもと、周					
	辺の環境整備をおこなう。					
SDGs	4 質の高い教育を みんなに 13 気候変動に 具体的な対策を マララう					







おみやカフェ(男嶽神社)

《産業振興部会》

【特産品開発】★★					
事業内容	利益を生み、雇用を生み出す特産品の開発。				
現状	麦やもち米などの資源(原料)が豊富にありながら、利益を生み出す特産				
	品の開発、製造等が行われていない。				
課題	地元の特産品の生産、加工、販売の仕組みを作り上げ、稼げる事業として				
	ℓ 1<.				
事業計画	地産地消による経済サイクルを作り上げ、利益と雇用が生まれる特産品の				
	開発をおこなう。具体的には、「壱州みそ」「かんころ餅」「かき餅」「こり				
	ん」等、古くから箱崎地区に伝わり、親しみのある加工食品を、箱崎らし				
	いネーミングにして特産品として売り出す仕組みづくりを目指す。できた				
	特産品については、地域内の観光地で販売する。				
	「通称:かからだご」の葉っぱ「かから」について、漢方薬になるとの評				
	判もあるため、「かから」を使った葉っぱビジネスを目指す。				
	※かから:正式名称「サルトリイバラ(猿捕莢)」				
SDGs	2 飢餓を ゼロに 8 働きがいも 経済成長も 12 つくる責任 つかう責任				
	Company of the second of the s				

【地域イベ)	ント支援】★★
事業内容	地域内外の人が交流できるイベントの開催支援をおこなう。
現 状	以前は男女岳ダム公園等で実施していたお祭り等で、地域内外の方との交
	流ができていたが、人手不足等により廃止され、箱崎地区において、地域
	内外の方と交流できるようなイベントがない。
課題	誰もが気軽に参加でき、主催者、参加者の負担が少ない持続可能なイベン
	トの開催。
事業計画	箱崎地区で現在開催されている各種行事等について、関係団体と協議し、
	住民の負担とならず、より気軽に楽しめるようなイベントとして支援をお
	こなう。
	また、新たなイベントとして、家に眠るお宝を集め、使われていない農機
	具倉庫を活用した「昭和のまちづくり」イベントをおこない、観光地とし
	ての整備をおこなう。

SDGs







【観光活性化	(t) ★★					
事業内容	男岳山 (男嶽神社)・女岳山 (女嶽神社) を軸とした観光周遊ルートづく					
	り。					
現 状	男岳山 (男嶽神社)・女岳山 (女嶽神社)、男女岳ダム公園、諸津観音、諸					
	津の石垣(マチュピチュ)等、それぞれに個性のある観光地があり、更な					
	る集客力が見込めるにも関わらず、それぞれの持つ魅力の情報発信が不足					
	している状況。					
課題	地域内にある観光地の情報発信。観光地への行き方や、観光地にまつわる					
	ストーリー等についての地元の方への周知。					
事業計画	各観光地の関係者と協力し、SNS 等を活用した情報発信をおこなう。					
	地元の方向けには、まちづくり協議会の広報誌による周知もおこない、「地					
	域の誰もが観光アドバイザー」を目指す。					
	地域内の観光地を線でつなぎ、周遊ルートを作り上げ、特産品の販売等も					
	絡めて、お金を生み出す仕組みづくりを目指す。					
SDGs	/ 質の高い教育を					
	4 質の高い教育を みんなに 15 陸の豊かさも 17 パートナーシップで 日標を達成しよう					



箱崎諸津石垣群(マチュピチュ) ※テレ朝「ナニコレ珍百景」大賞獲得



通称:かから(くゎくゎら) (サルトリイバラ※猿捕莢)

《総務部会》

【広報誌発行	ਰੋ] ★★★					
事業内容	まちづくり協議会活動について理解を深めるための広報活動。					
現 状	まちづくり協議会が設立したばかりで、組織の概要や活動内容についての					
	理解が薄い。					
課題	箱崎まちづくり協議会の認知度アップ。					
事業計画	広報誌の発行や SNS を活用した周知活動をおこなう。					
SDGs	4 質の高い教育を みんなに 10 人や国の不平等 11 住み続けられる まちづくりを 11 はみ続けられる まちづくりを 11 はんがった 11					

【コミュニティバスの運行】★★					
事業内容	高齢者の生活支援(買い物・通院等)として乗り合いバスの運行。				
現 状	交通の便が悪い簡	§所があり、買い	物や通院にも不便	である。	
課題	高齢者の運転免許返納による交通手段の確保。				
事業計画	予約制によるコミュニティバスの運行をおこない、交通手段の限られた高齢者の生活支援(病院への送迎・買い物支援等)を実施します。同時に、独居老人等の安否確認をおこないます。				
SDGs	1 貧困を なくそう 3 すべての人に 健康と福祉を 10 人や国の不平等 まちづくりを 一人人 一人人				

【空き家対策事業】★★				
事業内容	空き家の実態を把握し、有効活用の可能性を探る。			
現 状	後継ぎがおらず、管理できていない空き家が増加している。また、危険家			
	屋となり住民の生活に影響を及ぼす可能性がある。			
課題	空き家の管理、有効活用。			
事業計画	空き家マップを作成し、現状等について見える化をおこなう。家主が特定			
	できる家屋については、現状等を説明し、市の補助事業等も活用した管理			
	を提案する。(市の空き家バンクへの登録推進等)			

SDGs







9. おわりに

箱崎まちづくり協議会は、住民の皆様はもちろん、自治公民館、各種組織・団体、行政が連携しながら、協働のまちづくりを展開し、様々な行事・事業を企画・運営する役割を担っております。

箱崎まちづくり計画策定及び協議会設立につきましては、箱崎地区の住民皆様から多くのご意見をいただき、幹事会・設立準備委員会の役員皆様には多大なるご尽力をいただきましたことに心から感謝を申し上げます。

いよいよ箱崎まちづくり協議会のスタートです。各種組織・団体と対等な立場で横断的な連携を図り相互関係を保ちながら、住民一人一人が考え行動し、住民が主役の「まちづくり」を目指します。

本計画に沿って箱崎地区のあるべき姿の実現に向け、活発な活動を進めてまいりますので、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



T811-5462

壱岐市芦辺町箱崎大左右触924番地(壱岐市箱崎地区公民館2階)

箱崎まちづくり協議会 事務局長 (集落支援員): 江川 常博

(固定電話・FAX) 0920-40-0169 (携帯) 090-6770-1383

(E-mail) hakozaki1001@gmail.com

★お気軽にお立ち寄りください (開所時間 平日8:30~17:15)

≪箱崎まちづくり協議会 LINE(ライン)≫

箱崎まちづくり協議会の情報をこちらから随時お届けします!! 登録方法:LINEホーム画面⇒友だち追加⇒QRコードをタップ



IINF: QR J- K

<u>箱崎まちづくり協議会設立までのあゆみ</u>

平31	4/3	箱崎地区公民館連絡協議会	まちづくり協議会概要説明
令元	6/6	箱崎小学校区説明会	於:つばさ 幹事会委員選定
11	7/12	第 1 回幹事会	設立準備委員会設立に向けた準備
11	8/6	第2回幹事会	集落支援員及び拠点施設の協議
11	9/26	第3回幹事会	設立準備員会規約の素案作成
11	10/1	集落支援員設置	
11	10/11	準備委員会事前打合せ会	組織構成・アンケート
11	10/23	準備委員会事前打合せ会	アンケート内容確認外
11	10/25	箱崎まちづくり協議会設立準備委員会	規約•役員選出外
11	10/31	アンケート用紙配布	箱崎全住民対象(小学生以上)
11	11/5	箱小児童アンケート回収	回収 34 件
11	11/21	一般アンケート回収	回収 757 件
11	11/27	芦辺中(箱崎)アンケート回収	回収 26 件
11	12/5	第1回子ども部会	まちづくり計画書について
11	12/12	第 1 回安全•安心部会	11
11	12/16	第2回子ども部会	11
11	12/18	第1回地域づくり部会	11
令2	1/15	第2回地域づくり部会	11
11	1/16	第1回産業振興部会	11
11	1/17	第2回安全•安心部会	11
11	1/20	第3回子ども部会	11
11	1/22	第 1 回総務部会	まちづくり計画進捗状況外
11	1/27	第3回安全•安心部会	まちづくり計画書について
11	1/28	第2回産業振興部会	11
11	11	地域担当職員•事務局会	11
11	1/30	第3回地域づくり部会	11
11	2/6	地域担当職員•事務局会	計画書最終確認調整
11	2/13	設立準備委員会運営委員会	準備委員会提出議案確認
11	2/18	箱崎まちづくり協議会設立準備委員会	計画書提出決定・新体制について
11	3/1	箱崎まちづくり協議会設立・開所式	







箱崎まちづくり協議会規約

第1章 総則

(名称及び所在地)

第1条 本会は、箱崎まちづくり協議会(以下「協議会」という。)と称し、事務局を壱岐市箱崎地区 公民館内に置く。

所在地 壱岐市芦辺町箱崎大左右触 924 番地

(目的)

第2条 協議会は、地域住民相互の連帯と健康福祉増進の強化に努め、各種団体と連携を図りながら、 地域の課題解決に取組み、市と協議会との協働により、暮らしやすいまちづくりを推進する ことを目的とする。

(活動)

- 第3条 協議会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる活動を行う。
 - (1) まちづくり計画書の策定及び事業の実施
 - (2) 地域課題の把握や情報の発信
 - (3) 地域課題解決に向けての協議及び事業の実施
 - (4) その他まちづくりのために必要な活動

(構成)

- 第4条 協議会は、つぎに掲げる団体等で構成する。
 - (1) 箱崎地域内に居住している人
 - (2) 箱崎地域内で働く人や学ぶ人
 - (3) 箱崎地域内の事業者
 - (4) 箱崎地域内のコミュニティ組織
 - (5) 箱崎地域内の各種団体等

第2章 役員

(役員)

第5条 協議会に次の役員を置く

(1)	会長	1名
(2)	副会長	1名
(3)	事務局長	1名
(4)	会計	1名
(5)	総務部会長	1名
(6)	地域づくり部会長	1名

- (7) 安全・安心部会長 1名
- (8) 子ども部会長 1名
- (9) 產業振興部会長 1名
- (10) 監事 2名

(役員の選任)

第6条 役員(部会長を除く)は、運営委員会において選任する。

2 部会長は、部会において選任する。

(役員の職務)

第7条 役員の職務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、協議会を代表し、会務を総括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。
- (3) 事務局長は、協議会の事務を総括する。
- (4) 会計は、協議会の出納に関する一切の業務を処理する。
- (5) 部会長は、部会の活動を総括し、事業の調整にあたる。
- (6) 監事は、協議会の出納事務を監査する。

(役員の任期)

第8条 役員の任期は、2年とする。ただし、再選を妨げない。

2 補欠または関係団体等の方針によって入れ替わり就任した役員の任期は、それぞれの前任者の残 任期間とする。

(役員手当)

第9条 協議会は、次のとおり役員手当を支給する。

- (1) 会長 60,000円/年
- (2) 副会長 20,000円/年
- (3) 会計 30,000円/年
- (4) 部会長 10,000円/年
- (5) 監事 3,000円/年

第3章 会議

(会議)

- 第10条 協議会に次の会議を置く。
 - (1) 運営委員会
 - (2) 役員会
 - (3) 部会

(運営委員会)

- 第11条 運営委員会は、次の者をもって構成する。
 - (1) 第5条に規定する役員
 - (2) 第13条の部会に属する地域住民並びに各種団体等の代表者
- 2 運営委員会は、毎年1回定期に開催する。
- 3 運営委員会は、会長が招集する。
- 4 会長は、必要があると認めるとき、又は第1項の構成者の半数以上の委員から、要求があったときは、臨時に運営委員会を開催することができる。
- 5 運営委員会の議長は、出席者の中から選出する。
- 6 運営委員会は、次の事項を議決する。
 - (1) 規約等の制定、改正及び廃止に関すること。
 - (2) 協議会役員の承認に関すること。
 - (3) 事業計画及び事業報告に関すること。
 - (4) 予算及び決算に関すること。
 - (5) その他、協議会が第2条に規定する目的を達成するための基本事項に関すること。
- 7 運営委員会の協議は、合意に達するまで相互に努力を重ね、協議結果については互いに尊重する。
- 8 運営委員会の議事については、議事録を作成しなければならない。

(役員会)

第12条 役員会は、第5条に規定する役員をもって構成し、協議会の運営について協議する。

- 2 役員会は、会長が招集する。
- 3 役員会の議長は、会長があたる。
- 4 会長は、必要があると認めるときは、役員会構成員以外の者を出席させ、意見を求めることができる。

(部会)

第13条 部会として次の部署を置き、各書簡に関わる事項を協議及び実践する。

- (1) 総務部会
- (2) 地域づくり部会
- (3) 安全・安心部会
- (4) 子ども部会
- (5) 産業振興部会
- 2 部会は、地域住民、各種団体等をもって構成する。

部会名	構成員(団体等)
総務部会	地域住民・地区公民館・自治公民館
地域づくり部会	地域住民・青年会・婦人会
安全・安心部会	地域住民・老人クラブ・自主防災組織・消防団

子ども部会	地域住民・学校・PTA・学校支援会議・子ども会
産業振興部会	地域住民・箱崎農協青年部・女性部・商工会

- 3 部会に部会長を置き、部会に属する部会構成員の互選により選出する。
- 4 部会長は、部会を代表し会務を総括する。
- 5 部会長は、部会の検討経過及び結果について、役員会に報告するものとする。
- 6 部会長は、必要があると認めるときは、部会構成員以外の者を出席させ、意見を求めることができる。

(会議の運営)

第14条 運営委員会及び役員会は、各会議の構成員の2分の1以上の出席により成立する。ただし、 部会は部会の判断に委ねる。

第4章 会計

(経費)

第15条 協議会の経費は、市からの交付金その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第16条 協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終了するものとする。

第5章 雑則

(その他)

第17条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に必要な事項は、運営委員会に諮って、会長が 定める。

附則

この規約は、令和2年3月1日から施行する。

SUSTAINABLE GEALS DEVELOPMENT GEALS

世界を変えるための17の目標



この計画書に掲載している上記のロゴは、SDGs (えすでぃーじーず)と呼ばれる国連で採択された、持続可能な社会を実現するための 2030 年までの 17 個の全世界での共通目標です。

壱岐市では、2018 年にこの SDGsの自治体モデル事業都市として政府から選定され、「誰一人取り残さない」という理念のもと、住み続けられるまちづくりを進めていくための取組として、まちづくり協議会の設立を推進しているところです。

※SDGs (Sustainable Development Goalsの略):持続可能な開発目標

(例) 1人1人の行動が住み続けられるまちづくりにつながります



商品として出せない形の野菜を食べる⇒食品廃棄が減る⇒地産地消⇒地域内での食品自給率が上がる

⇒SDGs のゴール「飢餓をゼロに」につながる



商店で賞味期限の近いものから購入⇒食品廃棄(フードロス)を減らす⇒廃 棄処分料を抑えられる

⇒SDGs のゴール「12:つくる責任使う責任」につながる



買物にマイバック(手提袋)を持参⇒商店のビニール袋削減⇒ゴミの削減 ⇒海洋ゴミの削減⇒漁場環境の改善につながる

⇒SDGs のゴール「14:海の豊かさを守ろう」につながる